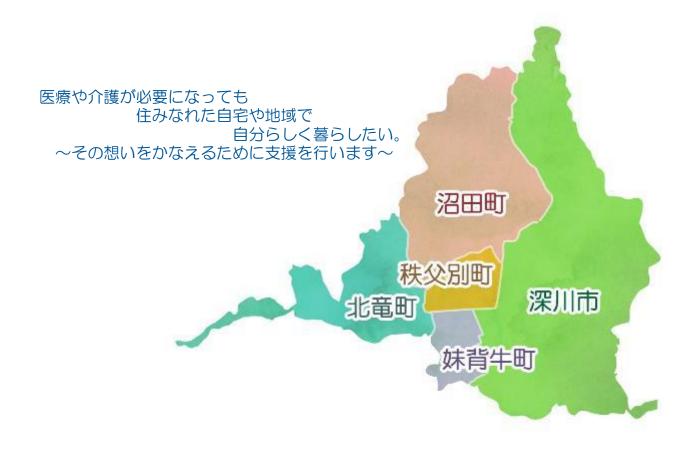
令和5年度

北空知地域医療介護確保推進協議会第1回会議議案



令和5年7月3日 深川市立病院2階会議室

目 次

1.	. 北空知地域医療介護確保推進協議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 —	1
2	. 北空知地域医療介護確保推進協議会 運営会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 —	3
3.	. I 医療介護相談・在宅生活支援部会···········1 -	- 1	2
4	.Ⅱ 多職種連携・地域啓発部会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1-	- 2	3
5	. 令和4年度北空知地域医療介護連携支援センター事業······1 - (地域医療・介護連携推進事業)決算 令和4年度地域リハビリテーション活動支援事業 決算	- 3	6
6	. 令和5年度北空知地域医療介護連携支援センター事業1 - (地域医療・介護連携推進事業)予算(案) 令和5年度地域リハビリテーション活動支援事業 予算(案)	- 3	7
7.	. 令和4年度北空知地域医療介護確保推進協議会······1 - 各種会議・行事一覧	- 3	8

令和5年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 第1回会議議案 北空知地域医療介護確保推進協議会

〇設置目的

北空知1市4町(深川市、妹背牛町、秩父別町、北竜町及び沼田町)間で、平成28年3月18日に締結した「北空知における地域医療・介護の提供体制の確保と連携に関する協定書」に基づく広域事業の実施について協議するために、関係市町、深川保健所、深川医師会、深川市立病院、深川地区消防組合、介護サービス事業者等の関係機関・団体で構成する「北空知地域医療介護確保推進協議会」を設置する。

〇協議事項

広域的に実施する次に掲げる地域医療・介護に係る連携推進事業について協議する。

- (1) 救急医療及び地域医療の確保と連携推進に関する事業
- (2) 在宅医療・介護の連携推進に関する事業
- (3) 認知症施策の連携推進に関する事業
- (4) 介護及び生活支援サービスの確保と連携推進に関する事業
- (5) その他地域医療及び介護サービスの確保と連携推進に関する事業

≪令和4年度事業報告≫

1. 開催計画

・協議会の定期開催は6月(今回は7月)を予定し、その他必要に応じて開催することとした。

2. 開催状況

- **〇第1回会議**令和4年7月5日(火)オンライン開催参加者協議会委員11名
- •協議 •確認事項
 - (1) 令和3年度事業報告及び決算報告について
 - (2) 令和4年度事業計画(案)及び予算(案)について
 - (3) 休日・夜間救急医療体制確保事業の報告について
 - (4) 深川市立病院新改革プランの実施状況に関する点検・評価について
 - (5) その他について
 - ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から令和2、3年度は書面会議としていたが、今年はオンラインで開催され、協議・確認事項は運営会議・事務局提案どおり、委員全員よって承認された。

3. 協議会構成員(令和4年4月~令和5年3月)

役職	所属団体・役職	氏 名	備 考
会 長	深川市長	山 下 貴 史	R 5. 1交代
副会長	深川医師会会長	松本三樹	吉本病院院長
	妹背牛町長	田中一典	
	秩父別町長	澁 谷 信 人	
	北竜町長	佐 野 豊	
	沼田町長	横 山 茂	
委員	深川保健所長	久 保 憲 昭	
安貝	深川市立病院長藤澤		
	深川地区消防組合消防長	高 直樹	
	社会福祉法人揺籃会理事長	永 倉 隆太郎	※ 1
	社会福祉法人北海道中央病院理事長	大 西 道 祥	※ 1
	北空知介護支援専門員連絡協議会会長	菅 野 美奈子	※1 アニスティ深川

※1の団体の代表の委員は2年任期(令和4年度~令和5年度)

≪令和5年度事業計画≫

1. 令和5年度事業計画

・協議会の定期開催は6月(今回7月)を予定し、その他必要に応じて開催する。

2. 協議会構成員(令和5年4月~令和6年3月)

役職	所属団体・役職	氏 名	備 考
会 長	深川市長	田中昌幸	
副会長	深川医師会会長	松本三樹	吉本病院院長
	妹背牛町長	田中一典	
	秩父別町長	澁 谷 信 人	
	北竜町長	佐 野 豊	
	沼田町長	横 山 茂	
委 員	深川保健所長	久 保 憲 昭	
委 員	深川市立病院長	新 居 利 英	
	深川地区消防組合消防長	高 直樹	
	社会福祉法人揺籃会理事長	永 倉 隆太郎	※ 1
	社会福祉法人北海道中央病院理事長	大 西 道 祥	※ 1
	北空知介護支援専門員連絡協議会会長	菅 野 美奈子	※1 アニスティ深川

※1の団体の代表の委員は2年任期(令和4年度~令和5年度)

北空知地域医療介護確保推進協議会 運営会議

〇設置目的

協議会を円滑に運営するため、協議会の委員が所属する機関・団体の担当者で構成する運営会議を設置する。

〇協議内容

- (1)協議会の検討課題と事業の調整
- (2) 救急医療体制の維持・確保
- (3) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (4) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- (5) 在宅医療・介護連携推進事業の企画立案と進行管理
- (6) 地域リハビリテーション活動支援事業の企画立案と進行管理
- (7) 認知症対策事業の検討
- (8) 医療・福祉・介護人材の確保の検討
- (9) その他地域医療・介護連携推進事業の企画立案と進行管理
- (10) 各市町地域包括支援センターとの連携調整
- (11) 協議会関係団体・組織との連絡調整
- (12) 専門部会の連絡調整

≪令和4年度事業報告≫

1. 令和4年度事業計画

- ・令和元年度に取りまとめた「協議会事業の進捗・評価と今後の方針・施策案」に基づき、次の課題 について重点的に協議することとする。
- ①切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- ・在宅医療・介護に関するアンケート調査結果(平成30年度)を踏まえ、急変時診療体制、夜間・ 休日診療体制および在宅での支援体制について引き続き検討する。
- ②医療・福祉・介護人材の確保
- ・令和2年度に実施した福祉・介護人材確保対策実態調査結果を踏まえ、深刻化する医療・介護・福祉職員の人材確保について、対応策を引き続き検討する。
- ③新型コロナウイルス感染症への対応
- ・北空知新型コロナウイルス感染対策連絡会議プロジェクトチームを中心に感染対策に関する情報共有と情報発信について検討するとともに、令和2年度に実施した新型コロナウイルス感染症対策実施状況調査で抽出された課題について検討する。また、北空知新型コロナウイルス感染対策支援班の運用と検証をすすめる。
- 4協議会事業の全体評価
- ・運営会議において、PDCAサイクルの考え方に基づき、また、令和元年度「協議会事業の進捗・ 評価と今後の方針・施策案」を踏まえた、これまで3年間(令和2年度~令和4年度)の協議会事業全体の進捗状況を確認し、その成果と課題を整理し、今後の課題への対応策を検討する。
- ⑤協議会運営体制の評価・見直し
- ・上記と併せ、部会の設置期間(令和2年度~4年度)の3年目にあたるため体制を見直し、部会長 等の役員、構成員の再編等について検討する。

2. 関係会議等開催状況

○第1回正副座長·部会長等会議(Web)

令和4年5月11日(水)~17(火)きたそらりんく利用会議

5月17日(火) 10:00~10:29 Zoom利用会議

出席者11名(運営会議正副座長、専門部会正副部会長、運営会議事務局員等)

- ・人事異動等により役員等が交代したため、今年度の事業を始動させるにあたり、令和3年度事業報告・令和4年度事業計画(案)等についての内容等を確認し、専門部会の役員及び委員の選出について協議した。
- ・協議会本体会議の開催方法について、顔の見える関係づくりに取り組んできたことを踏まえ、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、2年続いた書面会議からオンライン開催とすることを協議した。
- ・本年度はPDCAサイクルによる令和2~4年度に実施してきた事業を検証する年。また令和5年度からの人員体制についても今後協議していくことを確認した。

〇第1回運営会議(Web)

令和4年6月1日(水)~6(月)きたそらりんく利用会議

6月7日(火) 10:00~10:55 Zoom利用会議

出席者 運営会議委員12名 (運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長)

協議・確認事項

- (1) 北空知地域医療介護確保推進協議会の議案について
 - ・令和3年度事業報告・決算、令和4年度事業計画(案)・予算(案)、事業報告説明資料
- (2) 休日・夜間救急医療体制確保事業の報告について
- (3) 北空知地域医療介護確保推進協議会の開催について
- (4) その他

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から WEB 開催とし、協議会に提出する議案は事務局提案どおり、委員全員よって承認され、協議会第1回会議についてはオンライン開催することになった。

〇第2回運営会議(Web)

令和4年9月29日(木)~10月4日(火)きたそらりんく利用会議

10月 4日(火) 16:00~16:39 Zoom利用会議

出席者 運営会議委員10名 (運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長)

•協議 •確認事項

- (1) 在宅医療・介護連携事業の進捗状況確認、成果と課題について
 - ・在宅医療・介護連携推進事業の基本の取り組み内容である8事業及び4事業(独自事業等)について、3年間の進捗状況の確認、今後の方針や施策の見直しについて意見交換により協議した。
 - ・今年度取り組むべき内容、長期的に取り組む課題、新たな課題の設定、評価指標の設定等について検討した。
- (2) 今後の事業評価の進め方について
 - ・事業評価と運営体制の見直しについて、今後それぞれ必要な会議を開催し協議していくこととした。

〇第1回地域医療·介護連携推進事業担当課長会議

令和4年10月31日(月)10:00~ Zoom利用会議 出席者9名(1市4町担当課長等)

· 協議 · 確認事項

- (1) 令和5年度北空知地域医療・介護連携支援センター事業委託料(案) について
- (2) 令和5年度北空知地域リハビリテーション事業委託料(案) について

- (3) 北空知地域医療介護確保推進協議会における人員体制の見直し及び今後の方針について
- ※各市町の次年度予算に要求する協議会事業の委託料(案)を協議するとともに、今年度行う事業評価後の今後の活動方針に関して、1市4町の担当課として意見反映をしていくこと、人員体制については運営会議の座長は引き続き深川市が担うこととし、その他の部会長は4町(及び保健所やケアマネ連協)で担当することとした。どの部会を担当するかは、後日北竜町を座長として選定会議を行うこととした。

〇部会長等選定会議

令和4年11月9日(水) 13:30~ Zoom利用会議

出席者 6 名 (北竜町役場住民課細川課長·神薮課長補佐、沼田町役場保健福祉課森田主幹、

秩父別町役場住民課立川主幹、妹背牛町役場健康福祉課南主幹、村田事務局長)

- 協議・確認事項
- (1) 小部会の機関・団体の割り振り案について
 - ・各町から現在の小部会長等が参加し、令和5~7年度の町職員の役員体制について協議した。
 - ・妹背牛町 (副小部会長→II部会長)、秩父別町 (I部会長→副小部会長)、北竜町 (II部会長→II 副部会長)、沼田町 (II副部会長→I部会長) ※I副部会長は保健所に依頼予定

〇第2回正副座長·部会長等会議

令和5年1月4日(水)~11日(水) きたそらりんく利用会議

1月11日(水) 10:00~10:33 Zoom利用会議

出席者13名(運営会議正副座長、専門部会正副部会長、運営会議事務局員)

- ・令和2~4年度の事業評価・検証、令和5~7年度の実施体制について協議
- ・本年度の各部会での取り組み状況の報告と、次年度の計画について、令和2~4年の事業評価及び各部会における進捗状況を踏まえて協議をおこなった。
- ・実施予定の研修会や、具体的な取り組み内容について協議未了の部分は各小部会で年度内に確認することとした。
- ・2~3月にかけて専門部会、運営会議を行い、本年度事業の実施報告と次年度計画、予算決算について協議し次年度の本体協議会へ諮る準備を行うこととした。

〇第3回運営会議(Web)

令和5年3月17日(金)~24日(金) きたそらりんく利用会議

3月24日(金) 16:00~16:32 Zoom利用会議

出席者21名(運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長)

- 協議・確認事項
- (1) R2~R4の事業評価・検証、R5~R7実施体制について
 - ・各専門部会での協議を踏まえて評価案を作成しR5協議会本体会議へ提案することとした。
 - ・前回同様、遅れているという評価の事業があり、数も増加したが、未着手の評価は今回なかった。
- (2) 今年度事業のまとめと次年度の取組について
 - ・各専門部会・小部会、運営会議における今年度の取り組みの総括と次年度計画案について協議。
 - ・評価を踏まえ、次期体制で具体的な対応策を協議するため、今後の方針としてまとめ、各年度の 計画とし、個別具体的な取り組みは今後専門部会で協議していくこととした。
- (3) 次年度スケジュールについて
 - ・各会議体委員に次期体制の人選を今後依頼することとした。
 - ・次年度の協議開始時期及び、令和5年度の本体協議会及び運営会議の日程の概要について協議。

○北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議プロジェクトチーム会議

令和5年3月17日(金) 14:00~15:30 深川市健康福祉センター 出席者9名(プロジェクトチームメンバー、保健所(企画総務課主幹、係長))

協議・確認事項

- - R4. 8. 25 開催の研修会は 43 事業所が参加
- (2) 北空知新型コロナウイルス感染症対策支援班の稼働状況、管内の新型コロナウイルス感染症の経過について
 - ・保健所近藤係長から、今現在コロナで対応している施設があること、感染者数は減少しているが 類型が変わった後も増減を繰り返すであろうこと、夏にひと波あるのではないかと見込まれてい ることなどの報告があった。
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策及び支援班の今後について
 - ・5類移行後の感染対策について、各事業所を対象とした研修を開催し情報交換してはどうか。 参加対象を広くすると施設規模や形態の違いにより受け止め方が変わるため、単位を小さくして 開催するのはどうか。
 - ・空知3振興局合同で研修会開催予定。管内施設での感染対策等のブラッシュアップが必要。
 - ・本プロジェクト会議の取り組みについて、周知(見える化)が必要。
 - ・保健所・認定看護師の派遣事業を平常時にシフトしていってはどうか。
 - ・保健所業務として個別指導は継続。クラスター未発生の施設は、保健所対応に過大な期待をする 傾向がみられ、平時の対策の見直しに入ることに難しさがある。
 - ・事前に保健所等と事務局で方向性を検討し、5/24 開催の運営会議で本PTの取り組みや今後の意向を伝える。

などを協議した。

○新型コロナウイルス感染症対策研修会

令和4年8月25日(木) 18:00~19:00 オンライン開催

- · 主催:北空知地域医療介護確保推進協議会
- ・出席者78名 (保健・医療・介護・福祉関係者)
- 研修内容
- (1) 講演「講演「北空知の新型コロナウイルス感染症予防について

~クラスター発生の経験から学ぶ~|

講師 社会福祉法人揺籃会

法人事務局長・障がい福祉施設統括マネージャー 杉山 優太 氏 特別養護老人ホーム清祥園総合施設長 山崎 智広 氏 深川市立病院医療安全管理室副室長 齋藤 昌昭 氏

北海道空知総合振興局保健環境部深川地域保健室

健康推進課健康支援係長

近藤 望 氏

- ※講師として法人事務局長・障がい福祉施設統括マネージャーである杉山氏から「障がい者支援施設 あかとき学園」のクラスター発生、終息までの実体験をもとに、実践的な感染拡大防止対策、感染 発生時の対応について講演いただいた。
- ・空知初のクラスター発生で、12/30 クラスター認定、2/3 内部終息、2/17 外部終息。
- ・施設の特性上、利用者の日中の流れは極力平時と変わらないように配慮し不穏につながらないよう にした。また初動対応に関して、基礎的な感染防止対応や備品が不足していた。
- ※特別養護老人ホーム清祥園施設長の山崎氏からクラスター発生対応について事例報告があった。
- ・どこか他人事であった。根拠のない「大丈夫」、感染しても何とかなる、という過信や思い違いがあった。また標準予防対策の不備があげられた。
- 2/14 発症から 17 日間で 117 人の感染拡大。管内最大の事例となった。2/15 クラスター認定、3/28 終息となった。
- ・まずは死者を出さないこととしていたが結果として3名死亡となった。
- ※深川市立病院医療安全管理室から齋藤副室長から具体的な抗原検査キットの取り扱いや、交代のできない職場での就業前検査の方法などの紹介があった。
- ・また、検査キットの備蓄は職員の2倍程度は確保の必要がある。

- ※深川保健所健康推進課から近藤健康支援係長から、事例報告のあった2施設が管内の他事業所に対して実体験に基づく情報提供などを還元していただいたことへのお礼があった。
- ・入院治療に必要な病床確保をしつつ、施設で軽症者等を見てもらう対応をお願いし調整してきた。
- ・今後、コロナだけでなく他の感染症などへの対応を含めた連携が必要。

(2) 質疑応答

質疑では、利用者のマスクの着用の入居系施設ではどのようにしているかとの質問があり、清祥園では利用者の理解が得られない場合もあり、着用できる利用者はしてもらい、職員はしっかり教育をしている。また、障がい者支援施設では利用者の義務としていない。職員は清祥園同様の対応であるとの回答があった。

- ・また補足として造田施設長から、クラスター発生した場合の費用増嵩についての話しと実体験の情報提供の申出があった。
- ・また、同じ系列事業所で居宅事業所なども施設と同様の対応をしているのかという質問には、それ ぞれのサービスに応じて施設での対応に準じた対応をしていることとの回答があった。
- ・利用者家族への協力を要請しているかとの質問には、発熱症状等があるか体調管理の報告(検温) はお願いしているとの回答があった。

アンケート記入への協力を呼びかけ終了した。

アンケートからは子育て世代へのフォローが必要、ホワイトボードでの情報共有が参考になった、 また気軽に相談できるネットワークが構築されればなどの要望や意見があった。

3. 事業の進捗状況

(1)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- ・在宅医療・介護に関するアンケート調査結果(平成30年度)を踏まえ、急変時診療体制、夜間・休日診療体制および在宅での支援体制について引き続き検討する。
 - ⇒ 予定していた検討課題については、具体的な検討に至らなかったが、各部会でも研修会は継続して実施してきており、多職種での連携や関係者ノレベルアップを図り、資源の乏しさを補う取り組みを行った。

②医療・福祉・介護人材の確保

- ・令和2年度に実施した福祉・介護人材確保対策実態調査結果を踏まえ、深刻化する医療・介護・福祉 職員の人材確保について、対応策を検討する。
 - ⇒ 実態調査を踏まえた具体的な検討には至らなかったが、次期体制での方針として、外国人を雇用している事業所の就労状況の情報発信や、将来の担い手育成のため生徒・学生への取り組みを検討できないかとの意見があった。

③新型コロナウイルス感染症への対応

- ・新型コロナウイルスの感染拡大に対応するため、広域での対応を協議する場として、運営会議メンバーで構成する「北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議」令和2年10月1日から設置し、具体的な検討課題はプロジェクトチームを設置している。
- ・3月17日PT会議を行い、令和4年8月に実施した新型コロナウイルス感染症対策研修会の実施報告や「北空知新型コロナウイルス感染対策支援班」の今後の対応や5類移行後の感染対策について、各事業所を対象とした研修を開催することについて協議した。
- ・8月25日に「新型コロナウイルス感染症対策研修会」を開催しクラスター発生時の対応などの情報 共有を行った。
- ・施設等で感染症が発生した場合の初動体制として「北空知新型コロナウイルス感染対策支援班」を令和3年11月に設置しているが、令和4年度の発動はなかった。
- ・感染症対策の一環として、令和3年7月から有料版ZOOMを導入し、各種会議や研修における利便性を向上し、圏域における事業所間連携が途切れることの無いよう各種取り組みを実施した。

4. 運営会議構成員(令和4年4月~令和5年3月)

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
座 長	深川市高齢者支援課長	米 澤 弘 美	
副座長	深川保健所次長	住 友 義 昭	
	深川医師会事務長	高田智之	
	深川市立病院事務部長	髙 田 光 徳	
	社会福祉法人揺籃会理事	遊佐英樹	※1 清祥園
	社会福祉法人北海道中央病院理事	菅 野 美奈子	※1 アニスティ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長	選考中	※1 選 考 中
		\downarrow	↓R4.6選任
委 員		高橋ゆみ	※1 アニスティ深川
安 貝	深川地区消防組合深川消防署指令救急課長	山崎達也	
	妹背牛町住民課長	石 井 昌 宏	
	妹背牛町健康福祉課長	河 野 和 浩	
	秩父別町住民課長	中野慎司	
	北竜町住民課長	細川 直洋	
	沼田町保健福祉課長	小 玉 好 紀	
	深川市健康・子ども課主幹	北 垣 千 絵	

※1の団体の代表の委員は2年任期(令和4年度~令和5年度)

≪事務局体制≫

	二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十		т	H		/++: - -/-
	所属団体・役職等		氏	名		備 考
110000000000000000000000000000000000000	深川市立病院地域連携室室長	村	澤	眞由	美	副センター長
北空知地域 医療介護連携	深川市立病院地域連携室主幹	村	田	真	紀	事務局長
支援センター	深川市立病院地域連携室副室長	藤	原	智	美	事務局員
又接ビングー	深川市立病院地域連携室地域連携係長	尾	中	康	晴	事務局員
	深川市高齢者支援課主幹	高	崎	宣	美	% 1
市町行政部局	深川市高齢者支援課地域包括支援係長	小金	段冶	真由	美	% 1
	深川市健康・子ども課障がい福祉係長	畑	Щ	賢	明	% 1

※1の事務局員は深川市 (座長) から選出する (令和2年度~令和4年度)

⇒ 市町行政部局3名は、令和元年度まで深川市2名と4町の持ち回り1名としてきたが、専門部会の見直し再編に合わせ、座長の深川市で担うことになった。

≪北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議構成員≫

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
座 長	深川保健所次長	住 友 義 昭	
	深川市市民福祉部次長兼高齢者支援課長	米 澤 弘 美	
	深川医師会事務長	高田智之	
	深川市立病院事務部長	髙 田 光 徳	
		遊佐英樹	※1 清祥園
	社会福祉法人揺籃会理事	\downarrow	↓R4.11交代
委 員		造田裕普	※1 揺籃会法人本部
	社会福祉法人北海道中央病院理事	菅 野 美奈子	※1 アニスティ深川
		選考中	※1 選 考 中
	北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長	\downarrow	↓R4.6選任
		高橋ゆみ	※1 アニスティ深川
	深川地区消防組合深川消防署指令救急課長	山崎達也	

妹背牛町住民課長	石 井 昌 宏
妹背牛町健康福祉課長	河 野 和 浩
秩父別町住民課長	中野慎司
北竜町住民課長	細川直洋
沼田町保健福祉課長	小 玉 好 紀
深川市健康・子ども課主幹	北 垣 千 絵

[※]令和2年度第2回運営会議(10月1日開催)で設置を決定、設置期間は10月から当面の間とする。

また、クラスター発生時等に想定される課題についての研究と対策を進めるために、プロジェクトチームを設置する。

≪北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議プロジェクトチーム構成員≫

役	職	所属団体・役職等	氏 名 備 考	
座	予	深川保健所健康推進課長	森 下 恵 子	
		社会福祉法人揺籃会法人本部長	造田裕普	
		沼田町特別養護老人ホーム旭寿園園長	荒川幸太	
		妹背牛町介護老人保健施設りぶれ事務長	村上功	
委	員	深川市立病院医療安全管理室副室長	齋 藤 昌 昭	
安		深川市健康・子ども課主幹	北 垣 千 絵	
		深川市高齢者支援課主幹	高崎宣美	
		深川市高齢者支援課地域包括支援係長	小鍛治 真由美	
		深川保健所健康推進課長	森下恵子	

[※]事務局は深川市が担当

≪令和5年度事業計画≫

1. 令和5年度事業計画

- ・令和4年度に取りまとめた「協議会事業の進捗・評価と今後の方針・施策案」に基づき、次の課題 について重点的に協議することとする。
- ①在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
- ・在宅医療・介護連携における施策課題を運営会議で整理し、次年度又は次期3年間で、将来に向けた事業・施策のあり方を検討していく。施策については、市町課長会議で検討する。
- 上記の検討をする中で、運営会議にはかる内容、課長会議、専門部会で協議する内容を整理。
- ②休日・夜間救急医療体制の維持・確保
- ・開業医の高齢化や市立病院の厳しい医師確保から、対策を継続的・長期的に検討する。
- ・救急あんしんカードの ICT 活用は、データ更新に課題があり、配布主体である市町と協議が必要。
- ③医療・福祉・介護人材の確保
- ・具体的な人材確保については、今後もあらゆる面から継続的・長期的に検討していく
- ・人材確保に対する実行性のある具体的対策は難しい面があるが、外国人雇用している事業所での就 業状況の発信や、将来の担い手を育てるため児童・生徒等に向けた取り組みを検討する
- 4新型コロナウイルス感染症への対応
- ・今後の5類移行へ向け他の感染症も含めた平時の対応について研修会を開催する。

2. 運営会議構成員(令和5年4月~令和6年3月)

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
座 長	深川市高齢者支援課長	黒田隆之	
副座長	深川保健所次長	住 友 義 昭 ↓ 平 井 直 子	R 5. 6交代
	深川医師会事務次長	吉田博昭	
	深川市立病院事務部長	髙 田 光 徳	
	社会福祉法人揺籃会理事	造田裕普	※1 揺籃会法人本部
	社会福祉法人北海道中央病院理事	菅 野 美奈子	※1 アニスティ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長	高橋ゆみ	※1 アニスティ深川
委 員	深川地区消防組合深川消防署指令救急課長	山 崎 達 也	
女 貝	妹背牛町住民課長	石 井 昌 宏	
	妹背牛町健康福祉課長	愛 山 智 弘	
	秩父別町住民課長	塩 地 勇 夫	
	北竜町住民課長	細川 直洋	
	沼田町保健福祉課長	小 玉 好 紀	
	深川市健康・子ども課主幹	北 垣 千 絵	

※1の団体の代表の委員は2年任期(令和4年度~令和5年度)

≪事務局体制≫

	所属団体・役職等	氏	名	備考
110000000000000000000000000000000000000	深川市立病院地域連携室室長	立花	洋 子	副センター長
北空知地域 医療介護連携	深川市立病院地域連携室主幹	村 田	真 紀	事務局長
支援センター	深川市立病院地域連携室副室長	藤原	智 美	事務局員
又接ビングー	深川市立病院地域連携室地域連携係長	尾中	康 晴	事務局員
	深川市高齢者支援課主幹	高崎	宣 美	※ 1
市町行政部局	深川市高齢者支援課地域包括支援係長	小鍛冶	真由美	※ 1
	深川市健康・子ども課障がい福祉係長	畑 山	賢 明	※ 1

※1の事務局員は深川市 (座長) から選出する (令和5年度~令和7年度)

≪北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議構成員≫

	職	所属団体・役職	氏 名	備 考
座	長	深川保健所次長	住 友 義 昭 ↓ 平 井 直 子	R 5. 6交代
		深川市高齢者支援課長	黒 田 隆 之	
		深川医師会事務次長	吉田博昭	
		深川市立病院事務部長	髙 田 光 徳	
		社会福祉法人揺籃会理事	造田裕普	※1 揺籃会法人本部
		社会福祉法人北海道中央病院理事	菅 野 美奈子	※1 アニスティ深川
委員	員	北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長	高橋ゆみ	※1 アニスティ深川
		深川地区消防組合深川消防署指令救急課長	山崎達也	
	妹背4	妹背牛町住民課長	石 井 昌 宏	
		妹背牛町健康福祉課長	愛 山 智 弘	
		秩父別町住民課長	塩 地 勇 夫	
		北竜町住民課長	細川 直洋	

沼田町保健福祉課長	小 玉 好 紀
深川市健康・子ども課主幹	北 垣 千 絵

≪北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議プロジェクトチーム構成員≫

役職	所属団体・役職等	氏 名	備考
座 長	深川保健所健康推進課長	森下恵子	
	社会福祉法人揺籃会法人本部長	造田裕普	
	沼田町特別養護老人ホーム旭寿園園長	荒川幸太	
	妹背牛町介護老人保健施設りぶれ事務長	村 上 功	
委 員	深川市立病院医療安全管理室副室長	齋 藤 昌 昭	
	深川市健康・子ども課主幹	北 垣 千 絵	
	深川市高齢者支援課主幹	高 崎 宣 美	
	深川市高齢者支援課地域包括支援係長	小鍛治 真由美	

3. 年間スケジュール

年月日	項目	内 容
5月16日	正副座長・部会長等 会議	役員交代に伴う引き継ぎ及び令和5年度事業計画の協議・ 調整(事業の実施時期調整)
6月2日	第1回運営会議	令和5年度協議会議案の協議 協議会事業の進捗状況の確認、成果と課題の協議ほか
6月 日	第1回協議会	令和4年度事業報告・決算報告、 令和5年度事業計画(案)・予算(案)の協議ほか
月 日	第2回運営会議	協議会事業の進捗状況の確認、成果と課題の協議 協議会体制の検討・協議
月 日	第3回運営会議	協議会事業の進捗状況の確認、成果と課題の協議 協議会体制の検討・協議
月 日	第4回運営会議	重点課題の協議ほか 令和5年度事業のまとめと令和6年度の取組の協議

[※]必要に応じて「正副座長・部会長等会議」を開催し事業の進捗等を調整する。

I 医療介護相談·在宅生活支援部会

〇医療介護相談・在宅生活支援部会の担当

- (1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
- ①切れ目なく在宅医療と在宅介護を提供するための体制づくりの検討

 - ○急変時診療体制の検討 ○夜間・休日診療体制の検討
 - ○在宅での支援体制の検討 ○認知症施策の検討
- (2) 医療・介護関係者の情報共有の支援
- ①医療・介護連携情報共有ツールの作成と普及促進
- (3) 在宅医療・介護連携に関する相談支援と連携調整
- ①「北空知地域医療介護連携支援センター」の設置と運営
- ②医療・介護関係者、地域包括支援センターからの医療・介護連携に関する相談の受付・対応 (地域住民からの相談も直接受け付け、地域包括支援センターと連携調整する。)
- ③退院の際の医療及び介護関係者との連携調整と相互の紹介、他圏域病院との連携調整
- ④訪問看護等在宅サービスとの連携調整
- ⑤認知症初期集中支援事業の連携調整

≪令和4年度事業報告≫

1. 令和4年度事業計画

- (1) 切れ目のない在字医療と介護の提供体制の構築推進
- ①医療関係者と地域支援関係者との連携構築を図る北空知地域入退院支援研修会の開催
- ②認知症初期集中支援事業など認知症ケアの向上と認知症施策の検討
- (2) 医療・介護関係者の情報共有の支援
- ①医療・介護連携情報共有ツールの作成と普及促進
- (3) 在宅医療・介護連携に関する相談支援と連携調整
- ①北空知地域医療介護連携支援センターの運営と業務の周知
- ②相談コーディネート業務の充実
- ③相談コーディネーターの地域ケア会議への出席(関係者間の連携構築)
- ④訪問看護等在宅サービスとの連携調整
- ⑤認知症初期集中支援事業の連携調整
- ※令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行により、専門部会の会議は オンライン中心となり、協議内容によっては十分な議論がすすまず、また、事業は中止や延期を余儀 なくされたため、令和3年度に引き続き、昨年度と同様の事業を計画する。
- ・今年度も新型コロナウイルス感染症の状況により集合形式の事業の実施が難しい場合は、その都度内 容等を見直して実施していくこととし、見直しにあたっては、オンライン活用など別な方法を検討し 取り組むこととする。

2. 関係会議等開催状況

○新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、専門部会・小部会は、感染拡大状況や協議内容に応じて集合形式も検討したが、基本的にオンライン開催となった。

〇第1回部会(Web)

令和4年6月21日 (火) \sim 28日 (火) きたそらりんく利用会議 6月28日 (火) 18:00 \sim 18:23 Zoom利用会議 出席者20名 (部会委員、事務局員)

協議・確認事項

- (1) 令和3年度事業報告(進捗状況)の確認について
- (2) 令和4年度の事業計画及び年間スケジュールについて
- (3) 小部会・会議の構成(案) について
- (4) 令和2~4年度事業における評価と課題及び今後の方針について
- (5) 部会構成の見直しについて
- ※今年度の部会メンバーを確認し、協議・確認事項を協議。今年度も「医療介護相談支援小部会」「在 宅生活支援小部会」の2小部会を設置し事業に取り組むこととなり、部会終了後、各小部会に分か れ第1回会議を開催した。

また、これまでの協議会事業の取組を検証し、令和5~7年度の実施体制の見直しについて今後協議していくことを確認した。

〇第2回部会(Web)

令和5年3月10日(金)~16日(木) きたそらりんく利用会議 3月16日(木) 18:00~18:26 Zoom利用会議 出席者19名(部会委員、事務局員)

協議・確認事項

- (1) R2~R4 の事業評価・検証、R5~R7 実施体制
 - ・12 月から1月に意見聴取した各専門部会・小部会委員の意見を踏まえ、現行の2部会4小部会1会議のままとなった。今回は事業や委員の大幅な見直しがなく小さな動きとなった。
 - ・1部会が担当している分野で遅れているとされていたのが 10. 認知症初期集中支援事業。委員から「進め方そのものが違っていたのでは」という意見もあった。その立て直しなども含めて次期体制で協議を進めることとした。
- (2) R5~R7 における今後の方針(目指す方向)
 - ・評価を踏まえ、次期体制で具体的な対応策を協議するため、今後の方針としてまとめ、各年度の 計画とし、個別具体的な取り組みは今後専門部会で協議していくこととした。
- (3) 令和5年度の事業計画及び年間スケジュールについて
- (4) 令和4年度事業報告の確認について

〇第1回医療介護相談支援小部会(Web)

令和4年5月 6日(金)~11日(水)きたそらりんく利用会議 5月11日(水)18:00~18:30 Zoom利用会議 出席者10名(小部会メンバー)

協議・確認事項

- (1) 入退院支援研修会の開催について
 - ・開催方法は今後の状況に応じて検討し準備をすすめていくこととするが、集合形式は現状では難 しい(各種会議においても施設職員からオンラインを望む声がある)
 - ・実施内容はホワイトボード機能を活用したグループワークなど検討していく
 - ・開催回数と時期は、準備に要する時間などから1回・秋頃開催を目途とする

- ・テーマや事例提供者等についても次回までに各自持ち帰り職場で検討してもらうなどを協議した。
- (2) 前年度事業報告の確認及び令和4年度の事業計画及び年間スケジュールについて
 - ・上記の内容について資料に基づき確認をした。

〇第2回医療介護相談支援小部会(Web)

令和4年6月21日(火)~28日(火)きたそらりんく利用会議

6月28日(火) 18:32~19:20 Zoom利用会議

出席者11名(小部会メンバー)

- 協議・確認事項
- (1) 入退院支援研修会の実施内容について
 - ・研修テーマは「入退院支援ルールの普及」としオンライン開催とする
 - ・架空の事例を、ロールプレイでルールに沿った対応を研修する
 - ・グループに分かれてロールプレイを行う場合、職種を万遍なく振り分けないと成立しないので、 参加者取りまとめ後に予め割当てし、グループ毎にファシリテーターを配置

などを協議した。

〇第3回医療介護相談支援小部会(Web)

令和4年7月28日 (木) 18:08~18:55 Zoom利用会議 出席者9名 (小部会メンバー)

- 協議・確認事項
- (1) 入退院支援研修会の実施内容について
 - ・研修会当日の役割分担について協議
 - ・事例の内容に情報を追加するなどして修正。事例は架空で1事例のみ
 - ・アンケート内容などを確認

など具体的な内容を協議した。

〇第4回医療介護相談支援小部会(Web)

令和4年9月21日 (水) 18:00~19:03 Zoom利用会議 出席者12名 (小部会メンバー)

- 協議・確認事項
- (1) 入退院支援研修会の実施内容について
 - ・開催日を11月18日(金)に設定し、全体進行役や未決定部分、その他事例やアンケート内容 の詳細について協議
 - ・全体進行役やファシリテーター等で事前演習を行うこととした

〇第5回医療介護相談支援小部会(Web)

令和4年10月19日(水) 18:00~18:30 Zoom利用会議 出席者11名(小部会メンバー)

- · 協議 · 確認事項
- (1) 入退院支援研修会の実施内容について
 - ・開催日を12月9日(金)に再設定し、開催案内を来週中発送とした他、配布資料の確認を行った

〇第6回医療介護相談支援小部会(Web)

令和4年11月29日(火) 18:00~18:25 Zoom利用会議 出席者11名(小部会メンバー)

- 協議・確認事項
- (1) 入退院支援研修会の実施内容について

・現時点での参加申込状況を踏まえ、グループ分けを行った。そのうえでファシリテーター(小部会委員、参加者の中から依頼)の役割分担を確認。ファシリテーター等事前打合せを本番2日前に行うこととした。

〇第7回医療介護相談支援小部会(Web)

令和5年3月10日(金)~16日(木) きたそらりんく利用会議 3月16日(木) 18:28~18:43 Zoom利用会議

出席者9名(小部会メンバー)

- 協議・確認事項
- (1) 入退院支援研修会の実施結果について
 - ・今回は架空の事例によるグループワークとしたが、特に混乱もなく柔軟な発想で各職種の視点から支援を検討することができた。
 - ・ファシリテーターは以前の経験者を基本に依頼したが、2年ぶりの開催なのでブランクがあり、 かつオンライン開催のためファシリテーター・参加者ともに慣れない中での進行だった。
 - ・小部会の開催は6回(今回で7回)となり委員の負担が増えた。今後に向け合理的な開催が必要であること、などを協議した。
- (2) 本年度事業の実績及び次年度計画
- (3) 今後のスケジュール
 - ・スケジュール内容に研修企画に加え、ルールの周知・評価を次年度も入れることとした。

〇第1回在宅生活支援小部会(Web)

令和4年6月21日(火)~28日(火)きたそらりんく利用会議 6月28日(火)部会終了後18:32~18:58 Zoom利用会議 出席者10名(小部会メンバー)

- 協議・確認事項
- (1)「きたそらりんく」運用ルール策定ワークグループについて
 - ・7月1日に第1回ワーキンググループを開催予定。予定としている議案について報告し、今後ワーキンググループからの提案を受け小部会で協議しルール策定と周知等を行うことを確認した。
- (2) 令和4年度の活動について
- ① 救急あんしんカードの取り組みについて
 - ・カードのICT化等には予算措置が必要な場合もあるので各市町で協議していただくよう関係会議など機会を捉えPRしていく。1市4町の担当者会議等があれば説明員として事務局長が参加することを深川市担当へ地図業者の現地調査委託料資料を渡し伝えている。
- ②お薬手帳カバーの取り組みについて
 - ・薬剤師会での在庫や配布に対しての確認と、ケアマネ連協での周知についてそれぞれ団体で7月を目途に協議して連絡をもらう
- ③その他の取り組みについて
 - ・認知症施策研修会の開催について持ち帰り検討、次回意見をいただくこととしたなどについて協議した。

〇きたそらりんく運用方法検討ワーキンググループ 第1回会議 (Web)

令和4年7月1日(火) 17:00~18:35 Zoom利用会議 出席者9名(ワーキンググループメンバー)

- 協議・確認事項
- (1) 「きたそらりんく」 運用ルール策定ワークグループについて
 - ・「きたそらりんく」導入後のアンケートで入力ルールや対象者がはっきりしていないなどの意見があり、統一したルール等の策定の必要性があることが分かったことから、実際に入力して利用している事業所からワーキンググループメンバーとなっていただき実務上の経験などから使いやす

いルールを検討していただくために設置したことなど、ワーキンググループの概要を説明

- (2) ルール素案について
 - ・事務局提案のたたき台を元にルールを検討し、入力必須項目を協議した。また、「各事業所で必要とする情報、提供できる情報は何かなどを持ち帰り検討することとした。

〇きたそらりんく運用方法検討ワーキンググループ 第2回会議 (Web)

令和4年8月3日(水) 17:00~18:40Zoom利用会議 出席者9名(ワーキンググループメンバー)

- 協議・確認事項
- (1) ルール素案について
 - ・前回協議した内容を整理しルール素案として再度確認。持ち帰り検討することとしていた出せる 情報と欲しい情報の整理を行い、入力項目を必須項目と必要に応じて入力する項目などを協議し た。
 - ・上記の結果を小部会へ素案として提案することとした。

※今後の活動については、9月27日の小部会での協議の結果、ある程度の期間を新ルールで運用 し、その結果を検証していただくこととしてメンバーに通知している。

〇第2回在宅生活支援小部会(Web)

令和4年9月21日 (水) ~27日 (火) きたそらりんく利用会議 9月27日 (火) 18:00~18:54 Zoom利用会議 出席者8名 (小部会メンバー)

- 協議・確認事項
- (1)「きたそらりんく」運用ルール(ワーキンググループ協議経過)について
 - ・運用ルール(素案)及び入力項目をワーキンググループから提案を受け素案のとおり承認
 - ・入力対象者は5部門以上が関わる患者等が基本だが柔軟に対応する
 - ・入力項目一覧は全132項目中57項目とし、◎=入力必須、○=必要に応じて入力などとした
 - ・メインの使い方は連絡帳でのやりとり
 - ・ワーキンググループは今後ルールの検証をしていただくため年度末か年度当初などに開催
- (2) 令和4年度の活動について
- ①救急あんしんカードの取り組みについて
 - ・情報提供後の市町での動きは無いが、引き続きPRしていく
- ②お薬手帳カバーの取り組みについて
 - ・ケアマネ連協での周知は、11月~12月頃に研修会予定しており、工藤委員に講師としての打診が有った。
 - ・お薬手帳カバーの配布は在庫500枚があるのでケアマネからの配布か市町保健師が担当ケースで配布する
- ③その他の取り組みについて
 - ・認知症に関するアンケートを事業所へ実施し、そこから抽出された課題を次期体制へ引き継ぐなどについて協議した。

〇第3回在宅生活支援小部会

令和5年1月4日(水)~10日(火)きたそらりんく利用会議 1月10日(火)18:00~18:53 Zoom利用会議 出席者9名(小部会メンバー)

- 協議・確認事項
- (1) きたそらりんくについて
 - ・実際の運用ケースを各市町から報告。たそらりんく運用方法検討ワーキンググループでの今後の 評価の際に提供する

- (2) お薬手帳カバーの配布及び周知
 - ・ケアマネ連協での協議でケアマネジャーからカバーの配布を行っていただけることとなった。必要数の調査依頼を2月末〆切で実施中。ケアマネが月1回のモニタリングの際などに配布する予定

〇第4回在宅生活支援小部会

令和5年3月10日(金)~16日(木) きたそらりんく利用会議

3月16日(木) 18:30~19:00 Zoom利用会議

出席者9名(小部会メンバー)

- · 協議 · 確認事項
- (1) 認知症施策に関するアンケート結果について
 - ・認知症施策については、アンケート結果を踏まえ次年度の新体制で改めて具体的取り組みを協議していく
 - ・認知症初期集中支援事業の立て直しや多職種連携などの委員意見を踏まえた対応も検討
 - ・認知症施策は障がいや虐待等様々な要素が絡んでくるので、内容によってはこの小部会だけでな く他部会と連携して検討してくべきではないか

などを協議した

- (2) 本年度事業の実績及び次年度計画
- (3) 今後のスケジュール

〇北空知地域入退院支援研修会オンライン開催

令和4年12月9日(金) 18:00~19:45

出席者51名(看護職13名、介護支援専門員11名、介護福祉士4名、介護職員2名、MSW・SW・H談員3名、社会福祉士4名、保健師8名、薬剤師2名、歯科医2名、事務職2名)

- 研修内容
- (1) 事例紹介「余命3ヶ月の患者の在宅療養支援」

説明 深川市高齢者支援課 小鍛治 真由美 地域包括支援係長

- (2) 事例検討 10グループ 1グループ4~5名でグループワークを実施
 - ・テーマ2点 ①【入院決定から入院7日以内】入院時の情報共有について
- ②【退院へ向ける時期】【退院の見込みがついたら】退院に向けた情報共有について 北空知地域入退院支援・調整ルール」に定められている下記項目においてどのように情報共有していく かそれぞれ職種の立場で検討・情報交換した
- (3) 全体共有 グループワークで検討したことを9グループから発表 事例提供した4東病棟の看護師長からの感想等

※参加者の満足は高く、アンケートには「久しぶりに顔を見られる研修で楽しかった」「各職種からの意見が聞けて参考になる」「時間がたりない(全体的に駆け足だった)」「困っていることをざっくばらんに話し合う機会になってよかった」などの感想が寄せられていた。

|3. 事業の進捗状況|

- (1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
- (1)医療関係者と地域支援関係者との連携構築を図る北空知地域入退院支援研修会の開催
 - ⇒ 12月にオンライン方式で実施。2年ぶりの開催でありまたオンラインでの実施協議に小部会の 開催回数が多かった。今後は効率的な協議を行う必要がある。

当日は100名が目標であったが51名となり、10グループ(各グループ $4\sim5$ 人)でなるべく多職種で話し合えるよう事前調整した。

前段に北空知入退院支援ルールの説明を行い周知するととともに、グループワークでルールに基づいた支援を検討することとした。架空の事例を参加者の自由な発想で支援方法を検討した。

⇒ 令和5年1月に開催された北空知介護支援専門員連絡協議会主催の第62回研修会「事業継続計

画 (BCP) 策定研修会:自然災害編 に連携室から1名参加した。

また、11月に開催された公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団主催の「第18回在宅医療推進フォーラム」に協議会から代表1名(地域連携室)が参加した。

②認知症初期集中支援事業など認知症ケアの向上と認知症施策の検討

⇒ 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から計画していた事例共有検討会等の開催は、オンライン開催も検討したが、新型コロナウイルスの感染拡大の対応等から、昨年に引き続き中止した。認知症施策の検討として、令和5年1月に認知症施策に関するアンケート調査を行い、日頃の支援で事業所がどのような困りごとを感じているか、必要な対応はどのようなものかなどを調査し次年度に引き継ぐこととした。

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

①医療・介護連携情報共有ツールの作成と普及促進

- ⇒ 令和2年10月から運用を開始した「きたそらりんく」の導入調査(令和3年9月実施)の結果から、どのような利用者(患者)が対象となるかはっきりしていない、個人情報の取り扱いが不安であるなどの意見があり、入力ルールなどの運用方法の策定が必要であることが分かった。この結果を踏まえ、きたそらりんく運用方法検討ワーキンググループを設置し、具体的な運用ルールを協議し、策定を行った。
- ⇒ 平成30年8月試行・令和3年12月本運用としている「北空知地域入退院支援・調整ルール」 の周知を兼ね入退院支援研修会を12月にオンライン開催した。

(3) 在宅医療・介護連携に関する相談支援と連携調整

①北空知地域医療介護連携支援センターの運営と業務の周知

- ⇒ 市立病院地域連携室内に、下記「令和4年度 北空知地域医療介護連携支援センター体制」のとおり組織を設置し運営にあたった。
- ⇒ ホームページ、きたそらりんく、パンフレットなどで周知するとともに、各市町の地域包括支援 センター、各事業所等を通じて周知に努めた。

②相談コーディネート業務の充実

⇒ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、入退院支援も様々な面で制約を受けていたが、北空 知地域内外の各種研修会や会議の開催が困難となる中でも研修会のオンライン開催や地元町民限 定開催などの工夫を行っており、それらを背景に関係者との連携を図り相談業務充実に努めた。

③相談コーディネーターの地域ケア会議への出席(関係者間の連携構築)

⇒ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため年度前半は中止が相次いだが、状況を見ながら開催された地域ケア会議(深川市(月2回)、妹背牛町(月1回)、秩父別町(2か月に1回)、北竜町(月1回)、沼田町(不定期))に出席し、関係市町及び事業所等との連携構築に努めた。

④訪問看護等在宅サービスとの連携調整

⇒ 入退院支援業務や相談業務を通じて関係者との連携・調整に努めた。

⑤認知症初期集中支援事業の連携調整

- ⇒ 関係市町への認知症サポート医及び看護職の派遣・調整を行った。
 - ・令和4年度の実施件数 1件(深川市1件、実施結果:医療受診1件(介護サービス利用1件) 沼田0件、妹背牛0件、北竜0件、秩父別町0件

平成29年度5件(深川市4件、北竜町1件)、うち市立病院看護師派遣1件(北竜町) 平成30年度4件(深川市)、令和元年度2件、(深川市)、令和2年度2件(深川市) 令和3年度2件(深川市)、令和4年度1件(深川市)

4. 部会構成員(令和4年4月~令和5年3月)23名

役 職	所属団体・役職		氏	名	備考
部会長	秩父別町住民課主幹・介護保険係長	立	Ш	直哉	医療介護相談支援小部会長
副部会長	深川保健所企画総務課企画主幹	梅	澤	健 志	在宅生活支援小部会長
副小部会長	深川市高齢者支援課地域包括支援係長	小金	段治	真由美	医療介護相談支援小部会
国心司公区	深川市健康・子ども課障がい福祉係長	畑	Щ	賢 明	在宅生活支援小部会
	北空知歯科医会副会長	中	神	宏 司	中神歯科医院 院長
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	工	藤	博 之	なの花薬局
	北空知地域看護連携推進会議	坦	鳥	千恵子	深川第一病院
	北空知介護支援専門員連絡協議会	擅	橋	都	ライフマップ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会	橋	本	和 樹	深川市社会福祉協議会
	深川地区消防組合深川消防署指令救急課救急救助係長	野	村	知 哉	
	深川保健所企画総務課主査	青	野	美智代	
委 員	北空知区域內介護事業所(深川市)	荒	井	恵	深川社協ホームヘルプ
事務局員	妹背牛町健康福祉課主査	野	本	里 恵	
	北空知区域内介護事業所(妹背牛町)	Ц	崎	雄大	居宅りぶれ
	秩父別町住民課主幹・地域包括支援センター長	太	田	祥 予	
	北竜町住民課課長補佐・地域包括支援センター長	神	薮	早 智	
	北竜町住民課地域包括推進係長	大	井	敬太	
	沼田町保健福祉課主査	旦	下	広 大	
	北空知区域内介護事業所(沼田町)	蜖	Щ	美 幸	沼田町社会福祉協議会
	深川市立病院地域連携室室長	村	澤	眞由美	
車数巳巳	深川市立病院地域連携室地域連携係主任	佐	藤	恵 里	
事務局員部 会長	深川市立病院地域連携室主幹	村	田	真 紀	
引工文	北空知歯科医会副会長	中	神	宏 司	中神歯科医院 院長

※部会の設置期間(令和2年度~4年度)

部会の設置は3年ごとに見直し、部会長等の役員、構成員も再編する。

【医療介護相談支援小部会】

立川(小部会長)、小鍛治(副小部会長)、中神、白鳥、荒井、高橋都、青野、野本、大井、畠山、 佐藤、村田 (12名)

【在宅生活支援小部会】

梅澤(小部会長)、畑山(副小部会長)、工藤、野村、橋本、青野、太田、神薮、山下、 村澤、村田 (11名)

令和4年度 北空知地域医療介護連携支援センター体制

役 職	所属団体・役職		氏	名		担当
センター長	深川市立病院副院長	新	居	利	英	センター業務統括
センター長代理	深川市立病院事務部長	髙	田	光	徳	センター長の職務代理
副センター長	深川市立病院地域連携室長	村	澤	眞由	美	運営会議 医療介護相談・在宅生活支援部会
事務局長	深川市立病院地域連携室主幹	村	田	真	紀	運営会議及び専門部会の運営調整、 地域リハビリテーション活動支援事業 等の進行調整
事務局次長	深川市立病院地域連携室副室 長	藤	原	智	美	多職種連携・地域啓発部会

	深川市立病院地域連携室副室 長	赤	松	充	敏	多職種連携・地域啓発部会 地域リハビリテーション活動支援事業
市沙口旦	深川市立病院地域連携室 地域連携係長	尾	中	康	晴	運営会議 多職種連携・地域啓発部会
事務局員	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任	佐	藤	恵	里	医療介護相談・在宅生活支援部会

≪令和5年度事業計画≫

1. 令和5年度事業計画

- (1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
- ①医療関係者と地域支援関係者との連携構築を図る北空知地域入退院支援研修会の開催
 - (参加者や研修担当部会員負担の偏りを均等となるよう検討)
 - (意見交換型以外・ハイブリッド形式の研修も検討)
- ②認知症初期集中支援事業など認知症ケアの向上と認知症施策の検討
 - (認知症初期集中支援事業の支援の流れや他職種連携の見直し、広域的なスキルアップの取り組み)
- (2) 医療・介護関係者の情報共有の支援
- ①医療・介護連携情報共有ツールの作成と普及促進・活用状況の把握と改善
- (3) 在宅医療・介護連携に関する相談支援と連携調整
- ①北空知地域医療介護連携支援センターの運営と業務の周知
- ②相談コーディネート業務の充実
- ③相談コーディネーターの地域ケア会議への出席(共通課題の抽出)
- ④訪問看護等在宅サービスとの連携調整
- ⑤認知症初期集中支援事業の連携調整

2. 部会構成員(令和5年4月~令和6年3月)23名

役 職	所属団体・役職		氏	名		備 考
部会長	沼田町保健福祉課主幹	森	田	秀	幸	医療介護相談支援小部会長
副部会長	深川保健所企画総務課企画主幹	梅	澤	健	砯	在宅生活支援小部会長
副小部会長	深川市高齢者支援課地域包括支援係長	小金	段冶	真由	美	医療介護相談支援小部会
即小引云区	深川市健康・子ども課障がい福祉係長	畑	山	賢	明	在宅生活支援小部会
	北空知歯科医会副会長	中	神	宏	呵	中神歯科医院 院長
	深川医師会		欠	員)		
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	工	藤	博	之	なの花薬局
	北空知地域看護連携推進会議	白	鳥	千恵	闩	深川第一病院
	北空知介護支援専門員連絡協議会	ഘ	橋		都	ライフマップ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会	望	月	み	さ	グループホームなごみ
	深川地区消防組合深川消防署指令救急課救急救助係長	後	藤	康	之	
委員	深川保健所企画総務課指導主任保健師	櫻	井	優	子	
女 只	北空知区域内介護事業所(深川市)	石	橋	知	華	デイサービスみんカフェ
	妹背牛町健康福祉課主査	野	本	里	恵	
	北空知区域内介護事業所(妹背牛町)	<u> </u>	崎	雄	大	居宅りぶれ
	秩父別町住民課介護相談係長	池	田	有里	惠	
	秩父別町住民課健康推進係	松	原	舞	姫	
	北空知区域内介護事業所(北竜町)	倉	谷	亮	子	北竜町永楽園
	北竜町住民課介護予防係長	内	田	奈保	子	
	沼田町保健福祉課主査	山	下	広	大	

	深川市立病院地域連携室副室長	藤原智美
	深川市立病院地域連携室地域連携係主任	佐藤恵里
事務局員	深川市立病院地域連携室地域連携係	井 川 郁 実
	深川市立病院地域連携室地域連携係	廣瀬詩織
	深川市立病院地域連携室主幹	村 田 真 紀

※部会の設置期間(令和5年度~7年度)

部会の設置は3年ごとに見直し、部会長等の役員、構成員も再編する。

【医療介護相談支援小部会】

森田(小部会長)、小鍛冶(副小部会長)、中神、白鳥、石橋、高橋都、櫻井、野本、池田、倉谷、藤原、廣瀬、村田

(13名)

【在宅生活支援小部会】

梅澤(小部会長)、畑山(副小部会長)、工藤、望月、後藤、山崎、松原、内田、山下、 佐藤、井川、村田 (12名)

令和5年度 北空知地域医療介護連携支援センター体制

役 職	所属団体・役職		氏	名		担 当
センター長	深川市立病院院長	新	居	利	英	センター業務統括
センター長代理	深川市立病院事務部長	髙	田	光	徳	センター長の職務代理
副センター長	深川市立病院地域連携室長	立	花	洋	子	運営会議 多職種連携・地域啓発部会
事務局長	深川市立病院地域連携室主幹	村	田	真	紀	運営会議及び専門部会の運営調整、 地域リハビリテーション活動支援事業 等の進行調整
事務局次長	深川市立病院地域連携室副室長	藤	原	智	美	運営会議 医療介護相談・在宅生活支援部会
争物例队区	深川市立病院地域連携室副室長	赤	松	充	敏	多職種連携・地域啓発部会 地域リハビリテーション活動支援事業
	深川市立病院地域連携室 地域連携係長	尾	中	康	晴	運営会議 多職種連携・地域啓発部会
事務局員	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任	佐	藤	恵	里	医療介護相談・在宅生活支援部会
事 伤问貝	深川市立病院地域連携室 地域連携係	井	JII	郁	実	医療介護相談・在宅生活支援部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係	廣	瀬	詩	織	医療介護相談・在宅生活支援部会

3. 年間スケジュール

年月日	項目	内 容
5月16日	正副座長・部会長等会議	役員交代に伴う引き継ぎ及び令和5年度事業計画の協 議・調整(事業の実施時期調整)
5月 日	第1回運営会議	部会長→部会の議案説明
6月 日	第1回協議会議	部会の議案説明

(医療介護相談・在宅生活支援部会)

年月日		項目	内 容
月	日	第1回部会	令和5年度事業計画及び運営体制(小部会)の協議
月	日	第2回部会	令和5年度事業のまとめと次年度の取組の協議

(医療介護相談支援小部会)

年月	月日	項目	内 容
月	日	第1回小部会	入退院支援研修会の企画ほか 第1回入退院支援研修会の開催協議 北空知地域入退院支援・調整ルールの周知と利用状況 の把握・評価
月	日	第2回小部会	第1回入退院支援研修会の開催準備協議 (提供事例、開催要項・開催案内ほか)
月	日	第3回小部会	第1回入退院支援研修会の直前運営協議 (ファシリ選任、グループ分け、進行ほか)
月	日	第1回入退院支援研修会	
月	日	第4回小部会	第1回研修会の振り返り・評価
月	日	第5回小部会	今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

(在宅生活支援小部会)

年月	月日	項	目	内 容
月	日	第1回小部会		認知症施策アンケート結果から施策内容協議
月	日	第2回小部会		認知症施策ほか在宅生活支援施策の協議
月	日	第3回小部会		認知症施策ほか在宅生活支援施策の協議
月	日	第4回小部会		認知症施策ほか在宅生活支援施策の協議
月	日	第5回小部会		認知症施策ほか在宅生活支援施策の取りまとめ 今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

Ⅱ 多職種連携・地域啓発部会

○多職種連携・地域啓発部会の担当

(1) 地域の医療・介護の資源の把握と情報提供

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報収集と整理
- ②地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドの作成とホームページ等での公開
- ③医療・介護関係者との情報の共有と活用、地域住民に対する情報提供

(2) 医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
- ・ 多職種合同研修会の開催
- ・関係団体の研修事業等との連携と活用による研修会の企画立案
- ・各市町地域ケア会議等の活用による研修会の検討と実施
- ②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進

(3) 地域住民への普及啓発

- ①在宅医療や介護などについての講演会等の開催
- ・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催
- ・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施
- ②在宅医療や介護に関する住民広報の実施
- ・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施
- ・在宅医療・介護に関して高齢者虐待など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

≪令和4年度事業報告≫

1. 令和4年度事業計画

(1) 地域の医療・介護の資源の把握

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドのホームページでの更新・充実
- ②把握した資源情報を医療・介護関係者や地域住民に提供する方法の検討
- ③関係市町や関係団体等の広報誌・ホームページ等と連携した情報提供の検討

(2) 医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
- 多職種合同研修会の複数回開催の企画と運営
- ・地域内の研修事業の把握による参加案内の周知や共同開催等の検討
- ・協議会構成団体相互の専門職等の派遣協力による研修事業の検討
- ②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進
- ・各市町の事業調査とリハビリテーション専門職の派遣調整
- ・事業者向け研修会等の実施による普及推進
- ・各市町地域ケア会議での成果と課題の共有、対応等の検討

(3) 地域住民への普及啓発

- ①在宅医療や介護などについての講演会等の開催
- ・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催
- ・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施
- ②在宅医療や介護に関する住民広報の実施
- ・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施
- ・在宅医療・介護に関して高齢者虐待など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

- ※令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行により、専門部会の会議は オンライン中心となり、協議内容によっては十分な議論がすすまず、また、事業は中止や延期を余儀 なくされたため、令和3年度に引き続き、昨年度と同様の事業を計画する。
- ・今年度も新型コロナウイルス感染症の状況により集合形式の事業の実施が難しい場合は、その都度内容等を見直して実施していくこととし、見直しにあたっては、オンライン活用など別な方法を検討し取り組むこととする。

2. 関係会議等開催状況

○新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、専門部会・小部会は、感染拡大状況や協議内容に応じて集合形式も検討したが、多くがオンライン開催となった。

〇第1回部会(Web)

令和4年6月22日(水)~29日(火)きたそらりんく利用会議

6月29日 (水) 18:00~18:19 Zoom利用会議

出席者18名(部会委員、事務局員)

- 協議・確認事項
- (1) 令和3年度事業報告(進捗状況)の確認について
- (2) 令和4年度の事業計画及び年間スケジュールについて
- (3) 小部会・会議の構成(案) について
- (4) 令和2~4年度事業における評価と課題及び今後の方針について
- (5) 部会構成の見直しについて
- ※今年度の部会メンバーを確認し、協議・確認事項を協議。今年度も「多職種連携研修小部会」、「情報共有・地域啓発小部会」、「地域リハビリテーション活動支援事業調整会議」の2小部会1会議を設置し事業に取り組むこととなり、部会終了後、各小部会に分かれ第1回会議を開催した。

〇第2回部会(Web)

令和5年3月3日(金)~7日(火)きたそらりんく利用会議

7日(火) 18:00~18:22 Zoom利用会議

出席者18名(部会委員、事務局員)

- 協議・確認事項
- (1) R2~R4の事業評価・検証、R5~R7 実施体制
 - ・12月から1月に意見聴取した各専門部会・小部会委員の意見を踏まえ、現行の2部会4小部会1会議のままとなった。今回は事業や委員の大幅な見直しがなく小さな動きとなった。
 - ・2部会が担当している分野で遅れているとされていたのが7. (キ)地域住民への普及啓発。事業を進めてきた専門部会委員からすると違う意見があるかもしれないが、コロナ禍での取り組みで制限があり思った活動が出来なかった中での評価なのでご理解いただきたい。
- (2) R5~R7 における今後の方針(目指す方向)
 - ・評価を踏まえ、次期体制で具体的な対応策を協議するため、今後の方針としてまとめ、各年度の 計画とし、個別具体的な取り組みは今後専門部会で協議していくこととした。
- (3) 令和5年度の事業計画及び年間スケジュールについて
- (4) 令和4年度事業報告の確認について

〇第1回多職種連携研修小部会(Web)

4年5月25日 (水) 18:07~18:52 Zoom利用会議 出席者9名 (小部会メンバー)

- ·協議 · 確認事項
- (1) 医療・介護関係者の研修会の実施
 - ・継続性のため余り無理をせず、年3回を目標に研修会実施

- ・テーマは、1回目が「ストレスやアンガーマネジメント」。2回目3回目以降は「終活」、「弁護士などから身元引受人」について
- ・集合形式は時期尚早として今年度第1回目は ZOOM 開催にすることとした。

〇第2回多職種連携研修小部会(Web)

令和4年6月22日 (水) ~29日 (火) きたそらりんく利用会議 6月29日 (水) 18:20~19:00 Zoom利用会議 出席者9名 (小部会メンバー)

- •協議 •確認事項
- (1) 第1回研修会の実施内容
 - ・ケア・カフェ形式により8月23日開催予定とし、当日の役割分担や案内文書の確認を行った。

〇第3回多職種連携研修小部会(Web)

令和4年8月5日(金)~9日(火)きたそらりんく利用会議

8月9日(火) 18:00~18:24 Zoom利用会議

出席者6名(小部会メンバー)

- •協議 •確認事項
- (1) 第1回研修会の実施内容
- (2) 役割分担
 - ・当日の役割分担や実施内容を協議した
 - ・前段にカフェマスター、話題提供者、事務局で当日の資料等について確認
 - ・ 〆切は8月12日だが、現在申込数僅少のため各事業所での参加勧奨をお願いしたい
 - ・自己紹介のテーマは前回と同じ「コロナ禍におけるストレス解消法」とした
- (3) 当日配布資料について
 - ・内容を確認し前日までに参加申込者へ送信することとした
- (4) 事業報告、振り返り・評価(案:タタキ台)の作成について
 - ・青野委員に素案作成をお願いし、次回小部会(部会)で確認・協議することとした
- (5) 次回研修会の日程・内容について
 - ・有限会社マル安 三上石材工業所 三上貴康 代表に交渉し了解をいただいた。11月頃以降対応可能とのこと。詳細は後日詰め、情報提供して欲しい具体的な内容をこちらから伝えることとした

○第4回多職種連携研修小部会

令和4年10月4日(火)~10月6日(木) きたそらりんく利用会議 10月6日(木)18:04~18:44 Zoom利用会議 出席者10名(小部会メンバー)

- 協議・確認事項
- (1) 第1回研修会の振り返り・評価について
 - ・「ねらった参加者の参加」については参加者が増えたことや学生の参加が挙げられたが、小部会で 対応方針の協議ができていなかった
 - ・交流の場を手伝ってくれる人の確保はできず引き続き続き人材の発掘を行っていく
 - ・グループワークの時間は長いという意見もあったが、メンバーが上手くシャッフルされ違う顔ぶれになれば長く感じることは無いと思われる
 - ・参加端末はタブレット・携帯が3割超ある。画面に一度に映せるギャラリビューの上限が4人までなのでグループワークは $4\sim5$ 人を継続

などを協議した。

- (2) 第2回研修会の開催について
 - ・情報提供内容は、お墓を立てるまでの一連の流れ、事前に考えておくことや決めておくこと、それがないためにトラブルになった事例、困った事例、墓じまいの方法など
 - ・情報提供者と日程調整し開催日を決定していくこととした

○第5回多職種連携研修小部会

令和4年11月30日(水)~12月6日(火) きたそらりんく利用会議 12月 6日(火) 18:00~18:52 Zoom利用会議 出席者8名(小部会メンバー)

- · 協議 · 確認事項
- (1) 第2回研修会の実施内容
 - ・実施時期は令和5年1月20日で仮決定し三上代表に確認し案内発送。〆切は1月6日で案内
 - ・Q&Aを情報提供後に実施する
 - ・グループワークは前半30分、後半20分、カフェマスターは深川市高齢者支援課立川さん
 - ・グループワークのテーマは「終活」、「あなたの終活のイメージは?」を添えて自己紹介
 - ・三上代表が終活マルシェ実行委員会で活動していた経過からご紹介いただける終活関連の事業所 があるとのことを報告
- (2) その他
 - ・令和2~4年度の活動の取り組み評価・検証と令和5~7年度の実施体制について運営会議等で協議中であり、小部会委員としての意見反映を今後依頼するなどを協議した。

〇第6回多職種連携研修小部会(Web)

令和5年3月3日(金)~7日(火)きたそらりんく利用会議

3月7日(火)~18:26~18:38 Zoom利用会議

出席者 7名(小部会メンバー)

- 協議・確認事項
- (1) 第2回研修会の振り返り・評価について
- (2) 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成について
 - ・オンライン開催だったため費用が僅少となり返金となることについて委員の了承を得た。
- (3) 次回研修会の内容について
 - ・次年度のケアカフェは2回を目標として実施。また、内容はグループワークに拘らず講演会形式 (聴講) を検討する
- (4) 本年度事業の実績及び次年度計画
- (5) 今後のスケジュール

〇第1回情報共有·地域啓発小部会(Web)

令和4年6月22日 (水) ~29日 (火) きたそらりんく利用会議 6月29日 (水) 18:20~18:47 Zoom利用会議

出席者7名(小部会メンバー)

- · 協議 · 確認事項
- (1) パンフレット及びライスパワー体操DVDの配布数 (案) について
 - ・DVDは短編の増刷が必要。必要時に希望数を取得したい意見が多いが、事務局での保管は限りがあるため、増刷・保管方法について改めて委員意見を募る
 - ・昨年度作成したパンフレット「住み慣れたまちで安心して暮らすために」の配布数は事務局案で 了承され後日市町へ配布する
- (2) 本年度事業について
 - ・住民フォーラムは10月下旬~11月、秩父別町老人福祉センターで「終活」または「認知症の見守り」などをテーマに協議中。今後、実施町と事務局と部会長で相談する
 - ・地域住民向けの研修会等メニューは8月頃を目途に市町委員で検討の場を設ける
- (3) その他
 - ・地域リハビリテーション活動支援事業として、今年度から言語聴覚士 (ST) の派遣が可能となったがまだどの市町も利用が無いため活用して欲しい などを協議した。

○第2回情報共有 · 地域啓発小部会

令和4年 9月27日(火)~10月3日(月)きたそらりんく利用会議 10月 3日(月)18:00~18:44 Zoom利用会議 出席者8名(小部会メンバー)

·協議 · 確認事項

- (1) ライスパワー体操DVDの配布数(案) について
 - ・DVD配布数を再度確認し市町へ後日配布する
 - ・DVD増刷は予算執行状況と注文後一定時間を要することを了承いただき増刷対応する
 - (2) 本年度事業について
 - ①住民フォーラムについて
 - ・開催時期は11月8日14:00~とし、講師に一般社団法人 終活ジャパン協会代表理事 池田 智裕氏に依頼済み
 - ・感染対策として町民限定、説明・報告を減らし(訪問看護ステーション)、意見交換を質疑応答にする、小部会委員のみ現地参加とし、協議会委員はWEB配信によりオンライン参加とする ②地域住民向けの研修会等メニューについて
 - ・これまで協議できなかったため、10月中旬~下旬で日程調整し、市町委員・事務局で協議の場を持つ などを協議した

〇第3回情報共有·地域啓発小部会

令和4年12月15日(木)~12月21日(水) きたそらりんく利用会議

12月21日(月)18:00~ Zoom利用会議

出席者9名(小部会メンバー)

協議・確認事項

- (1) 在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムの振り返り・評価について
 - ・開催町として感染対策などを行いながら実施する内容に悩んだ
 - ・WEB配信はやはり聞き取りづらかったが、一応内容は聞こえた
 - ・次年度(沼田町)の実施内容はまだ具体的に詰めていないが、介護予防の取り組みが強みと思っているのでこれを軸とした講演を考えたい
 - ・開催町民限定でも一定数の参加者を確保できたのは成功
 - ・フォーラム開会前にライスパワー体操の動画を流してPRする機会があったが、動画が途中で途切れていたため通して再生するようにしたい
- (2) 地域住民向けの研修会等メニューについて
 - ・市民講座や出前講座などのイメージで実施できないか、講師を派遣できる協議会参加団体と協議 会役員へ調査をする
- (3) その他
 - ・令和2~4年度の活動の取り組み評価・検証と令和5~7年度の実施体制について運営会議等で協議中であり、小部会委員としての意見反映を今後依頼する

などを協議した。

〇第4回情報共有·地域啓発小部会

令和5年3月3日(金)~7日(火)きたそらりんく利用会議

3月7日(火)~18:28~18:50 Zoom利用会議

出席者 10名(小部会メンバー)

- (1) 地域住民向けの研修会等メニューについて
 - ・地域住民向けの研修会等メニューは、回答のあった事業所の内容等を次年度に引継ぎ協議することとした
- (2) 本年度事業の実績及び次年度計画
 - ・次年度の取り組みは、住民フォーラムの開催方法を住民限定にするなどを今後検討していく
- (3) 今後のスケジュール

〇第1回地域包括ケアに携わる多職種合同研修会

「第1回ケア・カフェきたそらち~ストレスとアンガーマネジメント~」オンライン開催

令和4年8月23日(火)18:00~19:58

参加者60名(事前申込者60名 欠席3名、当日受付3名)

(市町別:深川市37名、妹背牛町5名、秩父別町4名、北竜町6名、沼田町6名、その他2名)

(職種別:医師1名、歯科医師1名、歯科衛生士1名、薬剤師1名、看護職10名、保健師8名、

介護支援専門員7名、介護福祉士3名、ヘルパー2名、社会福祉士4名、

ソーシャルワーカー2名、リハビリ職4名、教員・学生8名、管理者5名、事務職3名)

- (1) 話題提供「ストレスとアンガーマネジメント」
 - ・ 話題提供者: 疋田 健さん (東が丘病院 精神科認定看護師)
- (2) グループワーク (情報・意見交換・意見交換)
 - ・テーマ「ストレスとアンガーマネジメント」
 - ・カフェ・マスター 桑原 薫さん(北空知介護支援専門員連絡協議会)
 - サブマスター オンライン開催のため配置なし
- ※疋田さんからは、アンガーマネジメントとはいいつつも怒りの感情は必要であること、「こうあるべき」という思い込みが怒りに変わることなど話題提供が行われた。
- ・グループワークは ZOOM 機能(ブレイクアウトルーム)によりランダムに 9 ないし 1 0 グループ編成され、1 グループ 4 ~ 8 人で行われ、桑原カフェ・マスターの進行で、「ケア・カフェ」と、グループワークでの自己紹介の内容(氏名・所属・職種・コロナ禍でのストレス解消法)について説明があった後に Chat 1 が開始され、休憩を挟んで Chat 2、全体会へと進行された。
- ・オンラインで話すことや、端末の操作に慣れてきている様子が見られ、仕事や私生活上のストレスと 感情コントロールについて意見交換することができた。

グループワークでは「ハラスメントに気をつけている」「飲み会が無く同僚や上司のキャラクターを把握する場面がない」「嫌なことは次の日に持ち越さない」「人と接する機会が減って笑うことが減った」「コロナで施設ではなく在宅の看取りが増え逆に本人の意思が尊重され良いケースもあった」などの事例をそれぞれ紹介し話し合いがされた。

〇第2回地域包括ケアに携わる多職種合同研修会

「第2回ケア・カフェきたそらち~終活~今ドキのお墓事情~」オンライン開催

令和5年1月20日(金) 18:00~20:03

参加者50名(事前申込者50名 欠席1名、当日受付1名)

(市町別:深川市26名、妹背牛町7名、秩父別町5名、北竜町6名、沼田町6名)

(職種別: 医師1名、歯科医師1名、歯科衛生士3名、薬剤師2名、看護職9名、保健師8名、介護支援専門員7名、介護福祉士3名、社会福祉士3名、ソーシャルワーカー2名、リハビリ職1名、管理者6名、事務職2名、その他2名)

- (1) 話題提供「終活~今ドキのお墓事情」
 - ・話題提供者 三上 貴康さん(有限会社マル安三上石材工業所 代表取締役)
- (2) グループワーク (情報・意見交換・全体共有)
 - ・テーマ「終活」
 - ・カフェ・マスター 立川智章さん(深川市高齢者支援課地域包括支援係)
 - サブマスター オンライン開催のため配置なし

終活の目的やその方法、具体的な手段、お墓に纏わる情報など、わかりやすく説明、紹介いただいた。30分では時間が不足し、後半のお墓事情の説明は駆け足気味になった。終了後、講師からは1時間あっても足りない位と話があった。

- ・全体の流れは第1回と同様。情報提供→グループワーク(Chat1:30分)、休憩、グループワーク(Chat2:20分) ⇒全体共有とした。
- ・進行は末岡カフェ・マスターが行い、「ケア・カフェ」の進め方と、グループワークでの自己紹介の 内容(氏名・所属・職種・あなたの終活のイメージは?)について説明があった後に Chat 1 から開

始となった。

- ・参加者はオンラインでの会話や、端末の操作に慣れてきている様子。
- ・個々の終活に対するイメージ、仕事や私生活上での体験など 意見交換することができた
- ・「終活の話題を利用者の方とストレートに話をすることは難しいが、これからの生活をどうしていきたいか、目の前の生活を一緒に考えることで終活に繋がっていくのではないか」「両親の終活について家族会議を開いている」「人生のやりたいことリストを作るといい」「断捨離や片付けのアドバイスが欲しい」「エンディングノートをつけてみたい」などだった。

〇在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラム in 秩父別町

~いずれはみんなに訪れる人生の最期 どう迎えたいですか?どう送りたいですか?~

令和4年11月8日(火)14:00~15:05 秩父別町老人福祉センター 参加者68名(秩父別町44名、支援関係者24名)

(1) 北空知地域の在宅医療・介護の取組紹介

「自宅で安心して暮らすために~チーム北空知の取組」

紹介者 北空知地域医療介護連携支援センター事務局長 村田 真紀さん

- (2) 講演「これからの自分の生き方を考える~あなたにとっての終活を考えてみませんか?~」 講師 一般社団法人終活ジャパン協会 代表理事 池田 智裕さん
- (3) 質疑応答
- ・「仏壇や遺影は処分していいのか」との質問に、「昔は考えられなかったことだが、最近はよくある相談。お焚き上げをして供養することで仏壇仕舞いしたり、又は小さなものに変更したりするなどの方法がある」と説明があった。
- ・当日は感染症対策として、開催町民限定、訪問看護の事例発表を割愛し時間短縮、フォーラム形式での意見交換はせずに質疑応答にとどめたことなど、現時点で出来る限りの方法を模索し開催。
- ・結果として参加者は前回(令和元年度)の集合形式の100名超からは大きく減少したものの、上記対策をとった上での参加数としては概ね良好と考えられる。
- ・最初に、北空知地域の在宅医療・介護の取組の紹介を協議会作成のパンフレットを基に行った。
- ・講演では、池田講師から「終活は、元気なうちにすることが大事」「財産が少なくても自分の意志を示すことは必要」「使えないもの・使わないものは捨てる、置き場所を決める、買う量を決める」、などスライドを用いてポイントを絞った終活方法が紹介された。
- ・遺品整理の現場では、本人が残したメッセージを見つけて家族へ引き継ぐことなど、池田代表の取り 組みの丁寧さが感じられる講話で、参加者は頷きながら聞き入っていた。
- ・参加者アンケートからも「終活はしようと思っても中々できない」「元気なうちにやらなければと思った」「自分の事を考える機会が増えている事に講演を聞いて認識した」などと、フォーラムのテーマや目的である、人生の最期をどう迎えたいか、送りたいかを自分自身の問題として考える機会となったことが伺えた。

〇第1回地域リハビリテーション活動支援事業調整会議

令和4年10月12日(水) 18:00~19:00 市立病院 出席者6名(市町地域包括支援センター担当者、事務局員)

- 協議・確認事項
- (1) 各事業項目別 実施件数(令和4年4月~9月)
- (2) 令和4年度上半期進捗状況
 - ・個別訪問、通所訪問、介護予防事業、地域ケア会議、スタッフ研修会について、実施状況や今後の 対策について協議した
 - ・深川市内デイサービス8か所(優和の郷礼、しらゆりの里、清祥園、アニスティ、カラダラボ、ライフシップ、福寿草、みんカフェ)に対し、地域リハ事業に対する要望や、きたそらりんく「DS専用リハビリ相談室(仮)」活用した情報共有についての意向や共有内容について調査を行う

(3) その他

・現在中止しているST派遣事業について今後再開予定であること、第60回全国自治体病院学会 in 沖縄(11月)で北空知地域リハ事業の取り組みについて発表するため、スライドに市町で撮影した 写真の掲載の了解、空知地区地域リハビリテーション連携強化研修会(R5年1月頃)で北空知地区 の連携と取り組みについて紹介予定

などの報告・協議を行った。

〇第2回地域リハビリテーション活動支援事業調整会議

令和5年3月17日(金) 16:00~17:00 Zoom利用会議 出席者8名(市町地域包括支援センター担当者、事務局員)

協議・確認事項

- (1) 今年度事業のまとめと次年度の取組について
- ・R5年2月に北空知管内通所事業所12カ所の管理者又は機能訓練担当者へ、きたそらりんく「DS専用リハビリ相談室」のニーズ調査を行った。アンケートの結果から、困ってはいるが、きたそらりんくでリハ職と連携することに具体的なイメージがつかめないためか、連携を望まない回答もあった。連携に前向きな数カ所DSと試行的に実施し、リハビリ支援内容について検証していく
- ・リハ職による介護予防事業では、主体的な活動に向けた支援、ライスパワー体操の普及啓発、サロンや介護予防事業の検証(見える化)を行い参加者の動機を高めて行くことや、妹背牛町社会福祉協議会の介護予防事業への参画内容については、詳細未定だがライスパワー体操を事業に取り入れていく予定。
- ・ST派遣事業は、次年度も講話対応は難しいため、個別訪問かスタッフ研修会で支援を行っていくなどの報告・協議を行った。

○介護保険サービス事業所スタッフ向け研修会の開催

市町名	開催回数	主な事業所
深川市	0	
妹背牛町	0	
秩父別町	2	有料老人ホームサルビア、和敬園
北竜町	3	グループホーム碧水
沼田町	1	養護老人ホーム和風園
合計	6	

○住民向け講演会・研修会等の開催

市町名	開催回数	主な事業所
深川市	1 7	あさひ区ふれあいサロン、デ・アイの会、ヘルシー会、駅ちかサロン・はまなす、介護予防サポーターフォロー講座、開西町お結びサロン、錦町すこやかサロン、健寿教室 OB 会、深川消費者協会 消費生活講座、西町すまいるサロン、男塾、「高齢者が元気で自分らしく暮らしていけるための地域づくり」を考える会
妹背牛町	5	妹背牛町生活支援ハウスすまい・ル、わかち愛サロン
秩父別町	0	
北竜町	6	たんぽぽクラブ
沼田町	1 6	あったまーる、ちょいスポ筋活動運動教室、のぞみ会サロン、旭町サロン、 共生老人クラブ、高齢者元気 100 倍! 教室、緑町サロン
合計	4 4	

3. 事業の進捗状況

- (1) 地域の医療・介護の資源の把握
- ①地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドのホームページでの更新・充実 【医療・介護資源情報ガイドのホームページ掲載状況】

- ・令和4年 8月 2日 北空知地域医療介護確保推進協議会の開催状況、委員名簿等を更新 ケアカフェ開催報告・開催案内
- ・令和5年 1月12日 北空知地域入退院支援研修会開催案内、ケアカフェ開催報告 北空知介護保険サービス事業所ガイド、診療所ガイド、歯科診療所ガイ ドを一部更新
- ⇒ 医療・介護の情報ガイドの更新のほか、各種事業の報告の掲載など、ホームページの更新を13回 (件)行った。

②把握した資源情報を医療・介護関係者や地域住民に提供する方法の検討

- ⇒ 各会議体委員等に情報提供として関係団体の研修等について「きたそらりんく (バイタルリン ク)」に掲載したが、地域住民への提供については具体的検討には至らなかった。
- ③関係市町や関係団体等の広報誌・ホームページ等と連携した情報提供の検討
 - ⇒ 関係機関・団体にホームページとのリンクを依頼しているほか、具体的検討には至らなかった。

(2) 医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
- 多職種合同研修会の複数回開催の企画と運営
 - ⇒ 8月、1月にケア・カフェ方式の研修会の開催を計画し、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観 点からオンライン開催とした。
- ・地域内の研修事業の把握による参加案内の周知や共同開催等の検討
 - ⇒ オンライン開催による研修については協議会委員を通じ各団体・施設での回覧等周知をしていた だいた。共同開催した研修は今年度はなかった。
 - ⇒ 各種事業での利用がスムーズにできるよう Zoom ミーティングの有料版を導入し、ケア・カフェ及 び入退院支援研修会、及び各会議体会議において利用した。また、住民フォーラムでの委員参加に も利用した。

関係機関・団体からの情報提供により、新型コロナウイルスの感染拡大防止に対応したオンライ ン研修やビデオ視聴研修などの研修情報を適宜、本協議会の各会議体委員等へメールや「きたそら ちりんく」等で案内した。

- 協議会構成団体相互の専門職等の派遣協力による研修事業の検討
 - ⇒ 地域リハビリテーション活動支援事業を通じ、関係市町の介護予防事業や介護保険サービス事業 所の職員研修に作業療法士を派遣した。また、市町要望を受け、言語聴覚士の派遣を開始したが、 職員の体調不良に検討した。

②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進

- 各市町の事業調査とリハビリテーション専門職の派遣調整
 - ⇒ 新型コロナウイルの感染拡大防止の中、活動が制約されたが、市立病院の複数の作業療法士で市 町担当を決め、派遣調整を行った。
- ⇒ 新型コロナウイルの感染で閉じこもりがちな高齢者に向けて、深川市立病院で考案した介護予防 体操「ライスパワー体操」の紹介・普及を図るため、深川市と共同し作成したDVDを配布し、市 民指導者を育成するための「ライスパワー体操サポーター養成講座」を開催し、市民の自主的な 介護予防活動の促進に努めた。

DVDは高齢者が操作しやすいように、基本編、短縮編、上級編の3枚に分け、「短縮編・基本 編」と「基本編・上級編」の2種類、2枚1組にしたセット版も作成している。昨年度増刷したも のを関係市町及び市立病院に配分した。

- ⇒また、「地域リハビリテーション活動支援事業パンフレット」を作成し、各市町へ配布し事業所スタ ッフ向けに利用啓発をすすめた。
- 事業者向け研修会等の実施による普及推進

- ⇒ 秩父別町、北竜町、沼田町の介護事業所でスタッフ研修を実施した。
- 各市町地域ケア会議での成果と課題の共有、対応等の検討
 - ⇒ これまでの事業の成果と課題等を共有するため、関係市町の地域ケア会議や事業所の研修などで報告し事業の一層の普及推進に努めた。

(3) 地域住民への普及啓発

- (1)在宅医療や介護などについての講演会等の開催
- ・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催
 - ⇒ 令和4年11月に秩父別町で北空知地域住民フォーラムを開催した。開催にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から町民限定とし、終活をテーマとして講師を招聘し実施した。令和5年度は沼田町での開催を予定している。
- ・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施
 - ⇒ 情報共有・地域啓発小部会の市町選出委員で「地域住民向け講演会・研修会のメニュー」案を検討するため、・関係4事業所(市町地域包括支援センター、市町健康担当課長、深川医師会、深川市立病院)・協議会に参加している委員を通じて各職能団体(ケアマネ連協、栄養士会、薬剤師会、歯科医会、看護連携推進会議)、・協議会委員へ講師派遣の調査を行い、次年度に引き継ぐこととした。
 - ⇒ 地域リハビリテーション活動の出前講座は、上記「住民向け講演会・研修会等の開催」のとおり、 44カ所(件)で実施した。

②在宅医療や介護に関する住民広報の実施

- ・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施
- ⇒ 介護予防の住民啓発資料として、介護予防体操「ライスパワー体操」DVD(令和3年度増刷)、「住み慣れたまちで安心して暮らすために」(令和3年度増刷)、「困った時は地域包括支援センターへ」(令和3年度新規作成)を関係市町及び市立病院に配布した。
- ・在宅医療・介護に関して高齢者虐待など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施
 - ⇒ 具体的な検討には至らなかった。

4. 部会構成員(令和4年4月~令和5年3月)24名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備考
部会長	北竜町住民課課長補佐・地域包括支援センター長	神薮早智	情報共有・地域啓発小部会長
副部会長	沼田町保健福祉課主幹	森田秀幸	多職種連携研修小部会長
	北空知介護支援専門員連絡協議会	桑原薫	多職種連携研修小部会
副小部会長	(秩父別社協)	米	多概性性病训修小证云
	妹背牛町健康福祉課主幹	南美也子	情報共有・地域啓発小部会
	深川医師会理事	大谷内 真 弓	深川市立病院診療部
	深川医師会議長	児 島 俊 一	児島医院 院長
	北空知歯科医会会長	伊 東 由紀夫	伊東歯科医院院長
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	(選 考 中)	薬剤師会事務局で選考中
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	中澤肇子	深川市立病院薬剤課
	北空知地域看護連携推進会議	杉谷由香	北海道中央病院
委員	北空知栄養士会会長	岡 本 恵	エーデルワイス
安 貝	深川保健所企画総務課主査	青 野 美智代	
	深川市介護者と共に歩む会会長	北 本 清 美	
	深川市高齢者支援課地域包括支援係(保健師)	和 田 奈津美	
	深川市高齢者支援課地域包括支援係(社会福祉士)	立川智章	
	妹背牛町健康福祉課主査	末 岡 崇	
	北空知区域内介護事業所(秩父別町)	小 原 誠 司	和敬園居宅
	秩父別町住民課介護相談係長	池 田 有里恵	

	北空知区域内介護事業所(北竜町)	村 井	恵	北竜町社会福祉協議会
	沼田町保健福祉課主査	磵	₹ —	
事務局員	深川市立病院地域連携室地域連携室副室長	赤松す	E 敏	
	深川市立病院地域連携室副室長	藤原智	手	
	深川市立病院地域連携室地域連携室係長	尾中鳥	₹ 晴	
	深川市立病院地域連携室主幹	村田真	[紀	

※部会の設置期間(令和2年度~4年度)

部会の設置は3年ごとに見直し、部会長等の役員、構成員も再編する。

【多職種連携研修小部会】

森田(小部会長)、桑原(副小部会長)、大谷内、中澤、杉谷、岡本、山﨑、長谷川、末岡、 小原、村井、藤原、村田 (13人)

運営協力員: 疋田健(東ヶ丘病院看護師)、坂本一樹(市立病院看護師)、 永洞政幸(市立病院作業療法士)

(16名)

【情報共有·地域啓発小部会】

神薮(小部会長)、南(副小部会長)、児島、伊東、岡安、北本、池田、磵、西潟、 赤松、尾中、村田 (12名)

【地域リハビリテーション活動支援事業調整会議】

村田(座長)、赤松(事業担当)、宮田(深川市)、末岡(妹背牛町)、太田(秩父別町)、 内田(北竜町)、磵(沼田町) (7名)

≪令和5年度事業計画≫

|1. 令和5年度事業計画

(1) 地域の医療・介護の資源の把握

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドのホームページでの更新・充実
- ②把握した資源情報を医療・介護関係者や地域住民に提供する方法の検討

(ホームページを閲覧できない高齢者等への訴求力のある媒体の検討)

- ③関係市町や関係団体等の広報誌・ホームページ等と連携した情報提供の検討
- (2) 医療・介護関係者の研修会の実施
- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
- 多職種合同研修会の開催の企画と運営

(参加者や研修担当部会員負担の偏りを均等となるよう検討)

(意見交換型以外・ハイブリッド形式の研修も検討)

- ・地域内の研修事業の把握による参加案内の周知や共同開催等の検討
- 協議会構成団体相互の専門職等の派遣協力による研修事業の検討
- ②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進
- ・各市町の事業調査とリハビリテーション専門職の派遣調整・充実(派遣場所・職種拡大)
- ・事業者向け研修会等の実施による普及推進
- 各市町地域ケア会議での成果と課題の共有、対応等の検討

(3) 地域住民への普及啓発

- ①在宅医療や介護などについての講演会等の開催
- ・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催
- ・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施
- ②在宅医療や介護に関する住民広報の実施
- ・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施

・在宅医療・介護に関して高齢者虐待・成年後見制度など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

2. 部会構成員(令和5年4月~令和6年3月)24名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備考
部会長	妹背牛町健康福祉課主幹	南美也子	情報共有・地域啓発小部会長
副部会長	北竜町住民課課長補佐・地域包括支援センター 長	神薮早智	多職種連携研修小部会長
副小部会長	第1回小部会で互選予定		多職種連携研修小部会
田小小山公区	秩父別町住民課主幹・地域包括支援センター長	太田祥予	情報共有・地域啓発小部会
	深川医師会理事	大谷内 真 弓	深川市立病院診療部
	深川医師会議長	児 島 俊 一	りぶれ施設長(管理医師)
	北空知歯科医会会長	伊 東 由紀夫	伊東歯科医院院長
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	(選 考 中)	薬剤師会事務局で選考中
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	中澤肇子	深川市立病院薬剤課
	北空知地域看護連携推進会議	杉 谷 由 香	北海道中央病院
	北空知栄養士会会長	岡本恵	エーデルワイス
	深川保健所企画総務課主査(保健推進)	三 井 浩 明	
委 員	深川市介護者と共に歩む会会長	北 本 清 美	
	深川市高齢者支援課地域包括支援係(保健師)	和 田 奈津美	
	深川市高齢者支援課地域包括支援係(社会福祉士)	立 川 智 章	
	妹背牛町健康福祉課主査	末 岡 崇	
	北空知区域内介護事業所(秩父別町)	(選 考 中)	
	北空知区域内介護事業所(沼田町)	小 山 俊 朗	沼田町デイサービスセ ンター
	北竜町住民課地域包括推進係長	大井敬太	
	沼田町保健福祉課主査	磵 宏一	
	深川市立病院地域連携室地域連携室副室長	赤松充敏	
事務局員	深川市立病院地域連携室室長	立 花 洋 子	
尹伤川貝	深川市立病院地域連携室地域連携室係長	尾中康晴	
	深川市立病院地域連携室主幹	村 田 真 紀	

※部会の設置期間(令和5年度~7年度)

部会の設置は3年ごとに見直し、部会長等の役員、構成員も再編する。

(16名)

【多職種連携研修小部会】

神薮 (小部会長)、○○ (副小部会長)、大谷内、中澤、杉谷、岡本、三井、立川、末岡、(選考中)、 小山、尾中、村田 (13名)

運営協力員: 疋田健(訪問看護いしずえ)、坂本一樹(市立病院看護師)、

永洞政幸(市立病院作業療法士)

【情報共有·地域啓発小部会】

南(小部会長)、太田(副小部会長)、児島、伊東、(選考中)、北本、和田、大井、磵、赤松、立花、村田 (12名)

【地域リハビリテーション活動支援事業調整会議】

村田(座長)、赤松(事業担当)、野原(深川市)、末岡(妹背牛町)、太田(秩父別町)、大平(北竜町)、磵(沼田町) (7名)

3. 年間スケジュール

年月日	項目	内 容
5月16日	正副座長・部会長等会議	役員交代に伴う引き継ぎ及び令和5年度事業計画の協議・調整(事業の実施時期調整)
5月 日	第1回運営会議	部会長→部会の議案説明
6月 日	第1回協議会議	部会の議案説明

(多職種連携・地域啓発部会)

年月日	項目	内 容
月 日	第1回部会	令和5度事業計画及び運営体制(小部会)の協議
月 日	第2回部会	令和5年度事業のまとめと次年度の取組の協議

(多職種連携研修小部会)

年月日	年月日 項 目		内 容
月	日	第1回小部会	多職種合同研修会の企画ほか
月	日	第2回小部会	第1回多職種合同研修会の開催準備協議
月	日	第1回多職種合同研修会	テーマ「未定」
月	日	第3回小部会	第1回多職種合同研修会の振り返り・評価 第2回多職種合同研修会の開催準備協議
月	日	第2回多職種合同研修会	テーマ「未定」
月	日	第4回小部会	第2回多職種合同研修会の振り返り・評価

(情報共有・地域啓発小部会)

年月日	項目	内 容
月 日	第1回小部会	住民向け講演会・研修会のメニューづくり、 地域啓発事業の企画協議ほか
月 日	第2回小部会	住民向け講演会・研修会等の協議ほか
月日	第3回小部会	地域住民フォーラムの開催準備協議 月上旬に開催案内 (市町広報 月末原稿提出、 月号掲載)
月 日	北空知地域住民フォーラム	沼田町で開催
月 日	第4回小部会	地域住民フォーラムの振り返り・評価ほか
月 日	第5回小部会	今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

(地域リハビリテーション活動支援事業調整会議)

年月日		項目	内 容
8月	日	第1回調整会議	今年度事業の中間評価と後半に向けての協議
2月	日	第2回調整会議	今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

令和4年度 北空知地域医療介護連携支援センター事業(地域医療・介護連携推進事業)決算(案)

収入

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
委託料	10, 708, 500	10, 708, 500	0	各市町負担金 深川市 4,620,985円 妹背牛町 1,603,330円 妹父別町 1,489,017円 北竜町 1,387,019円 沼田町 1,608,149円 計 10,708,500円
合 計	10, 708, 500	10, 708, 500	0	

支出

項目	————— 予算額	· 決算額	—————————————————————————————————————	
人件費	8, 077, 000	8, 077, 000		北空知地域医療介護連携支援センター業務に係る人件費 7,342,486円(市立病院正規看護職員平均給与費)×1.1=8,077,000円
連絡車両維持費	134, 000	123, 200	△ 10,800	年間車両レンタル料 369,600円/台×1/3(車両利用割合)=123,200円
事業費	600, 000	536, 095	△ 63, 905	オンライン多職種合同研修会開催経費155,603円 北空知地域医療介護確保推進協議会 ホームページ更新・管理経費33,000円 運営会議、プロジェクトチーム 入退院支援・調整ルール258,199円 医療介護相談・在宅生活支援部会 コロナ研修会31,464円 多職種連携・地域啓発部会 住民フォーラム57,829円 ※事務室やパソコン等の備品等使用料は含んでいません。
事務費	460, 000	394, 686	△ 65, 314	きたそらりんく導入運営経費59,400円 コピー機賃借及び使用料246,854円 介護新聞購読料16,500円 消耗品・消耗備品17,417円 郵送料9,252円 連絡車両燃料費・保険料45,263円
一般管理費	464, 000	604, 019	140, 019	(人件費+連絡車両維持費+事業費+事務費) 9,130,981円×10%=913,098円>604,019円 【6.62%】 当初予算5% (参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)
消費税	973, 500	973, 500	0	消費税(10%)9,735,000円×10%=973,500円
合 計	10, 708, 500	10, 708, 500	0	

令和4年度 地域リハビリテーション活動支援事業決算(案)

収入

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
委託料	9, 412, 700	9, 412, 700	0	各市町負担金 深川市 5,369,381円 妹背牛町 1,125,382円 妹父別町 964,613円 北竜町 821,164円 沼田町 1,132,160円 計 9,412,700円
合 計	9, 412, 700	9, 412, 700	0	

支出

			1	T							
項目	予算額	決算額	増減額		積算等内訳						
人件費	7, 384, 000	7, 384, 000	0	北空知地域リハビリテーション活 8,203,590円(事業従事割合によ	と空知地域リハビリテーション活動支援事業に係る人件費(令和2年度から複数で担当) 8,203,590円(事業従事割合による作業療法士給与費)×0.9人区≒7,384,000円						
連絡車両 維持費	415, 000	382, 800	△ 32, 200	年間車両レンタル料 382,800円	:間車両レンタル料 382,800円(イグニス)						
事務費	350, 000	291, 674	△ 58, 326	事務費計 291,674円	DVD作成費35,800円 きたそらりんく導入運営経費19,800円 コピー機賃借及び使用料30,857円 消耗品・消耗備品111,066円 連絡車両燃料費・保険料94,151円 ※事務室等使用料は含んでいません。	ライスパワー体操のDVD作成 費について、販売収入(200円 ×8セット=1,600円)を充当し て計上 37,400円-1,600円=35,800円					
一般管理費	408, 000	498, 526	90, 526		(人件費+連絡車両維持費+事務費) 8,058,474円×10%=805,847円>498,526円 【6.19%】 当初予算5% (参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)						
消費税	855, 700	855, 700	0	消費税(10%)8,557,000円×10%	費税(10%)8,557,000円×10%=855,700円						
合 計	9, 412, 700	9, 412, 700	0								

令和5年度 北空知地域医療介護連携支援センター事業(地域医療・介護連携推進事業)予算(案)

収入

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
委託料	10, 708, 500	10, 754, 700	46, 200	各市町負担金 深川市 4,634,200 円 妹背牛町 1,610,516 円 妹父別町 1,494,366 円 北竜町 1,395,153 円 沼田町 1,620,465 円 計 10,754,700 円
合 計	10, 708, 500	10, 754, 700	46, 200	

支出

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳				
人件費	8, 077, 000	8, 078, 000	1, 000	E知地域医療介護連携支援センター業務に係る人件費 43,059円(市立病院正規看護職員平均給与費)×1.1人区=8,077,365円				
連絡車両 維持費	134, 000	234, 000	100, 000	年間車両レンタル料1台 53,000円/月×12カ月×1.1×1/3(車両利用割合)=233,200円【車両入替】				
事業費	600, 000	539, 000	△ 61,000	協議会各会議体の開催経費、事業案内経費 北空知地域医療介護確保推進協議会 講演会・研修会等の講師謝礼・会場使用料・資料作成費など 運営会議 パンフレット作成経費 I 医療介護相談・在宅生活支援部会 ホームページ作成・更新・管理経費など II 多職種連携・地域啓発部会 R4勇美記念財団助成額減額(△61,000円)				
事務費	460, 000	460, 000	0	事務費(固定)460,000円 旅費・参考図書・消耗品費・燃料費・光熱水費・印刷製本費・通信運搬費・使用料及び賃借料・負担金など				
一般管理費	464, 000	466, 000	2, 000	切予算(人件費+連絡車両維持費+事業費+事務費)9, 311, 000円×5%=465, 550円 参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)				
消費税	973, 500	977, 700	4, 200	税(10%)9,777,000円×10%=977,700円				
合 計	10, 708, 500	10, 754, 700	46, 200					

令和5年度 地域リハビリテーション活動支援事業 予算(案)

収入

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
委託料	9, 412, 700	9, 710, 800	298, 100	各市町負担金 深川市 5,529,718 円 妹背牛町 1,161,412 円 妹父別町 993,609 円 北竜町 850,277 円 沼田町 1,175,784 円 計 9,710,800 円
合 計	9, 412, 700	9, 710, 800	298, 100	

支出

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
人件費	7, 384, 000	7, 642, 000	258, 000	北空知地域リハビリテーション活動支援事業に係る人件費(令和2年度から複数で担当) 8,490,125円(事業従事割合による作業療法士給与費)×0.9人区=7,641,113円
連絡車両 維持費	415, 000	415, 000	0	年間車両レンタル料+タイヤ経費 415,000円/台(イグニス)
事務費	350, 000	350, 000	0	事務費(定額)350,000円 旅費・参考図書・消耗品費・燃料費・光熱水費・印刷製本費・通信運搬費・使用料及び賃借料・負担金など
一般管理費	408, 000	421, 000	13, 000	当初予算(人件費+連絡車両維持費+事業費+事務費)8,407,000円×5%=420,350円 (参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)
消費税	855, 700	882, 800	27, 100	消費税(10%)8,828,000円×10%=882,800円
合 計	9, 412, 700	9, 710, 800	298, 100	

令和4年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 各種会議・行事一覧

左日口			6. 工从地域区凉川设施体推延励战去。它性去的 		見	中长形能
年月日	年月日(終期)	年度	会議・行事等	場所	種別	実施形態
R04.04.19		R04	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地
R04.04.25		R04	北竜町地域ケア会議	北竜町	会議	現地
R04.04.28	D04.05.44	R04	深川市地域ケア会議	深川市	会議	WEB
R04.05.06	R04.05.11	R04	第1回 医療介護相談支援小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R04.05.11	D040547	R04	第1回 医療介護相談支援小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R04.05.11	R04.05.17	R04	第1回正副座長・部会長等会議(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R04.05.17		R04	第1回正副座長·部会長等会議(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R04.05.11		R04	沼田町地域ケア会議	沼田町	会議	現地
R04.05.17		R04	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地
R04.05.19		R04	秩父別町地域ケア会議	秩父別町	会議	現地
R04.05.24		R04	深川市地域ケア会議	深川市	会議	WEB
R04.05.25		R04	第1回 多職種連携研修小部会(ZOOM)	Web上 ·	会議	WEB
R04.06.01	R04.06.06	R04	第1回運営会議(きたそらりんく) 	Web上	会議	WEB
R04.06.07		R04	第1回運営会議(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R04.06.20		R04	北竜町地域ケア会議	北竜町	会議	現地
R04.06.21		R04	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地
R04.06.21	R04.06.28	R04	第1回 医療介護相談・在宅生活支援部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R04.06.28		R04	第1回 医療介護相談·在宅生活支援部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R04.06.21	R04.06.28	R04	第2回 医療介護相談支援小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R04.06.28		R04	第2回 医療介護相談支援小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R04.06.21	R04.06.28	R04	第1回 在宅生活支援小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R04.06.28		R04	第1回 在宅生活支援小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R04.06.22	R04.06.29	R04	第1回 多職種連携・地域啓発部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R04.06.29		R04	第1回 多職種連携·地域啓発部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R04.06.22	R04.06.29	R04	第2回 多職種連携研修小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R04.06.29		R04	第2回 多職種連携研修小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R04.06.22	R04.06.29	R04	第1回 情報共有・地域啓発小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R04.06.29		R04	第1回 情報共有·地域啓発小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R04.06.23		R04	深川市地域ケア会議	深川市	会議	WEB
R04.07.01		R04	第1回 きたそらりんく運用方法検討ワーキンググループ	Web上	会議	WEB
R04.07.05		R04	北空知地域医療介護確保推進協議会	Web上	会議	WEB
R04.07.19		R04	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地
R04.07.21		R04	秩父別町地域ケア会議	秩父別町	会議	現地
R04.07.21		R04	深川市地域ケア会議	深川市	会議	WEB
R04.07.28		R04	第3回 医療介護相談支援小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R04.08.03		R04	第2回 きたそらりんく運用方法検討ワーキンググループ	Web上	会議	WEB
R04.08.05		R04	第1回地域フォーラム打合せ	Web上	会議	WEB
R04.08.05	R04.08.09	R04	第3回 多職種連携研修小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R04.08.09		R04	第3回 多職種連携研修小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R04.08.23		R04	地域包括ケアに携わる多職種合同研修会「第1回ケア・カフェきたそ	Web上	研修会	Web上
R04.08.23		R04	らち」(60名) 妹背牛町地域ケア会議	<u></u> 妹背牛町	会議	現地
R04.08.25		R04	深川市地域ケア会議	深川市	会議	WEB
R04.08.25		R04	新型コロナウイルス感染症対策研修会(78名)	深川市	研修会	WEB
R04.08.29		R04	北竜町地域ケア会議	北竜町	会議	現地
R04.09.08		R04	第2回地域フォーラム打合せ	ル电型 Web上	会議	死地 WEB
R04.09.08		R04	株父別町地域ケア会議	秩父別町	会議	現地
R04.09.13		R04	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地
R04.09.20		R04	第4回 医療介護相談支援小部会(ZOOM)	然自一町 Web上	会議	死地 WEB
R04.09.21	R04.09.27	R04	第2回 在宅生活支援小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R04.09.21	1104.03.27	R04	第2回 在宅生活支援小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R04.09.27		R04	第2回 住宅生活文族小部会 (ZOOM) 北竜町地域ケア会議		会議	現地
RU4.U9.Z0		R04	心电凹地域プノ玄磁	北竜町	本	坎地

令和4年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 各種会議・行事一覧

左口口					元 [程则	中长瓜能
年月日 R04.09.27	年月日(終期) R04.10.03	年度 R04	会議・行事等 第2回 情報共有・地域啓発小部会(きたそらりんく)	場所 Web上	種別 会議	実施形態 WEB
R04.09.27	K04.10.03	R04	第2回 情報共有・地域啓発小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R04.10.03	R04.10.04	R04	第2回運営会議(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R04.09.29	R04.10.04			Web上	会議	WEB
	D04 10 00	R04	第2回運営会議(ZOOM)			
R04.10.04	R04.10.06	R04	第4回 多職種連携研修小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R04.10.06		R04	第4回 多職種連携研修小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R04.10.12		R04	第1回 地域リハビリテーション活動支援事業調整会議	市立病院	会議	現地
R04.10.18		R04	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地
R04.10.19		R04	第5回 医療介護相談支援小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R04.10.24		R04	北竜町地域ケア会議	北竜町	会議	現地
R04.10.27		R04	深川市地域ケア会議	深川市	会議	WEB
R04.10.31		R04	第1回地域医療·介護担当課長等会議 	Web上	会議	WEB
R04.11.08		R04	在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラム秩父別(68名)	北竜町	研修会	現地
R04.11.09		R04	部会長等選定会議	Web上	会議	WEB
R04.11.15		R04	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地
R04.11.23		R04	勇美記念財団第18回在宅医療推進フォーラム(ZOOM)	Web上	研修会	WEB
R04.11.29		R04	第6回 医療介護相談支援小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R04.11.30	R04.12.06	R04	第5回 多職種連携研修小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R04.12.06		R04	第5回 多職種連携研修小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R04.12.09		R04	北空知地域入退院支援研修会(51名)	Web上	研修会	WEB
R04.12.15	R04.12.21	R04	第3回 情報共有・地域啓発小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R04.12.21		R04	第3回 情報共有·地域啓発小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R04.12.19		R04	北竜町地域ケア会議	北竜町	会議	現地
R04.12.20		R04	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地
R04.12.20		R04	深川市高齢者虐待防止ネットワーク会議・深川市SOSネットワーク 連絡会議	深川市	会議	現地
R04.12.22		R04	深川市地域ケア会議	深川市	会議	WEB
R05.01.04	R05.01.11	R04	第2回正副座長・部会長等会議(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R05.01.11		R04	第2回正副座長·部会長等会議(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R05.01.04	R05.01.10	R04	第3回 在宅生活支援小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R05.01.10		R04	第3回 在宅生活支援小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R05.01.12		R04	 北空知介護支援専門員連絡協議会第62回研修会	Web上	研修会	WEB
R05.01.17		R04	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地
R05.01.19		R04	秩父別町地域ケア会議	秩父別町	会議	現地
R05.01.20		R04	地域包括ケアに携わる多職種合同研修会「第2回ケア・カフェきたそらち」(50名)	Web上		
R05.01.23		R04	北竜町地域ケア会議	北竜町	会議	現地
R05.01.26		R04	深川市地域ケア会議	深川市	会議	WEB
R05.02.02		R04	株工業市場研究所きたそらりんく意見聴取	Web上	会議	WEB
R05.02.09		R04	深川市地域ケア会議	深川市	会議	現地
R05.02.14		R04	第1回深川市成年後見地域連携ネットワーク会議	深川市	会議	現地
R05.02.16		R04	休日診療全体会議(Zoom)	Web上	会議	WEB
R05.02.20		R04	北竜町地域ケア会議	北竜町	会議	現地
R05.02.21		R04	深川市地域ケア会議	深川市	会議	WEB
R05.02.21		R04	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地
R05.03.03	R05.03.07	R04	第2回 多職種連携・地域啓発部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R05.03.07		R04	第2回 多職種連携・地域啓発部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R05.03.03	R05.03.07	R04	第6回 多職種連携研修小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R05.03.07	1.00.00.07	R04	第6回 多職種連携研修小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R05.03.07	R05.03.07	R04	第4回	Web上	会議	WEB
R05.03.03	1.00.03.07	R04	第4回 情報共有・地域啓発小部会(さんてらりんく) 第4回 情報共有・地域啓発小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
				-	-	
R05.03.09	<u> </u>	R04	深川市地域ケア会議	深川市	会議	現地

令和4年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 各種会議・行事一覧

年月日	年月日(終期)	年度	会議・行事等	場所	種別	実施形態
R05.03.10	R05.03.16	R04	第2回 医療介護相談・在宅生活支援部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R05.03.16		R04	第2回 医療介護相談·在宅生活支援部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R05.03.10	R05.03.16	R04	第7回 医療介護相談支援小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R05.03.16		R04	第7回 医療介護相談支援小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R05.03.10	R05.03.16	R04	第4回 在宅生活支援小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R05.03.16		R04	第4回 在宅生活支援小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R05.03.14		R04	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地
R05.03.16		R04	秩父別町地域ケア会議	秩父別町	会議	現地
R05.03.17		R04	第1回 地域リハビリテーション活動支援事業調整会議	Web上	会議	WEB
R05.03.17		R04	北空知新型コロナウイルス感染症対策プロジェクトチーム員会議	深川市	会議	現地
R05.03.20		R04	北竜町地域ケア会議	北竜町	会議	現地
R05.03.20	R05.03.24	R04	第3回運営会議(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R05.03.24		R04	第3回運営会議(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R05.03.23		R04	深川市地域ケア会議	深川市	会議	WEB